

## Nutanix.NCP-CN.v2026-08-01.q78

|          |                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------|
| 試験コード：   | NCP-CN                                              |
| 試験名称：    | Nutanix Certified Professional - Cloud Native v6.10 |
| 認証ベンダー：  | Nutanix                                             |
| 無料問題の数：  | 78                                                  |
| バージョン：   | v2026-08-01                                         |
| ページの閲覧量： | 105                                                 |
| 問題集の閲覧量： | 845                                                 |

<https://www.jpnsshiken.com/shiken/Nutanix.NCP-CN.v2026-08-01.q78.html>

### 質問: 1

プラットフォームエンジニアは、エアギャップ環境のプライベートレジストリにNKPバンドルをロードした後、ブートストラップクラスタを作成するためにKonvoyブートストラップイメージを必要とします。Konvoyイメージはレジストリにロードされていません。バスティオンホストにKonvoyブートストラップイメージをロードするための最も適切なコマンドはどれですか？

- A. `docker load -i konvoy-bootstrap-image-<version>.tar`
- B. `nkp load image -f konvoy-bootstrap-image-<version>.tar --to-registry=<REGISTRY_URL>`
- C. `nkp push bundle --bundle konvoy-bootstrap-image-<version>.tar --to-registry=<REGISTRY_URL>`
- D. `dockerイメージタグ konvoy-bootstrap-image-<version>.tar バージョン docker.io/konvoy-bootstrap バージョン`

正解: ([正解を表示します](#))

### 質問: 2

企業のITチームは、社内の3つのグループ向けにKubernetesクラスターを提供しています。

素敵なCEO

金融保険

Fin TravelのITグループは、すべてのKubernetesクラスターのポリシーを単一の管理画面から統合する必要がありますが、Kubernetesクラスターは使用するグループごとに分離する必要があります。ITチームは、これらの要件を満たすために、NKP環境のライセンス設定と構成をどのように行うべきでしょうか？

- A. Kubernetes管理のためのNKP Starter。あらゆる企業向けにKubernetesクラスターを作成します。
- B. NKP Pro によるワークスペース管理、3つのワークスペースの作成、および各ワークスペースへの対応するKubernetesクラスターの割り当て。
- C. NKP Ultimate でフリート管理を行い、3つのワークスペースを作成し、それぞれのワークスペースに該当するKubernetesクラスターを割り当てます。
- D. プロジェクト管理用のNKP Proを使用し、3つのプロジェクトを作成し、それぞれのプロジェクトに該当するKubernetesクラスターを割り当てます。

正解: ([正解を表示します](#))

### 質問: 3

開発者がプラットフォームエンジニアに、ワークスペースiot-plant-3内のiot-1というクラスターのデプロイメントを確認するよう依頼しましたが、エンジニアはkubeconfigファイルを持っていません。Kubernetesクラスターを確認するためにkubeconfigファイルを生成する有効なコマンドはどれですか？

- A. `kubectl get secret iot-1 -n kommander > iot-1.conf`
- B. `kubectl get kubeconfig --cluster-name=iot-1 -w iot-plant-3 > iot-1.conf`
- C. `nkp get kubeconfig -c iot-1 -w iot-plant-3 > iot-1.conf`
- D. `nkp get configmaps -n iot-plant-3 -c iot-1 > iot-1.conf`

正解: ([正解を表示します](#))

#### 質問: 4

プラットフォームエンジニアが、高度なセキュリティを備えたvSphere環境にNKPをデプロイしています。NKPクラスタはエアギャップ構成で、FIPS準拠である必要があります。NKPクラスタノードに使用されるOSプラットフォームはRHELです。

エンジニアは、OSイメージを適切に準備し、FIPS準拠のNKPクラスタノードとして展開するために、どのような作業を行う必要がありますか？

**A.** OS自体がFIPSモードになっていることを確認してください。

NKPイメージ構築操作を実行する際は、オフラインFIPSオーバーライドを必ず含めてください。

NKPクラスタのデプロイ操作を実行する際は、KubernetesとetcdのFIPSバージョン参照を必ず含めてください。

**B.** OS自体がFIPSモードになっていることを確認します。

NKPイメージ構築操作を実行する際は、オフラインFIPSとFIPSオーバーライドを必ず含めてください。

NKPクラスタのデプロイ操作を実行する際は、KubernetesとetcdのFIPSバージョン参照を必ず含めてください。

**C.** OS自体がFIPSモードになっていることを確認します。

NKPイメージ構築操作を実行する際は、オフラインFIPSとFIPSオーバーライドを必ず含めてください。

NKPクラスタのデプロイ操作を実行する際は、kubernetes、kubectl、etcdのFIPSバージョン参照を必ず含めてください。

**D.** OS自体がFIPSモードになっていることを確認します。

NKPクラスタのデプロイ操作を実行する際は、kubernetes、kubectl、etcdのFIPSバージョン参照を必ず含めてください。

正解: ([正解を表示します](#))

エアギャップ環境でFIPS準拠のNKP展開を構築するには、以下の手順を実行する必要があります。

\* OS (RHEL) 自体がFIPSモードになっていることを確認してください。

\* イメージをビルドする際には、オフラインFIPSとFIPSオーバーライドの両方を含めて、イメージとコンポーネントが準拠してビルドされるようにしてください。

\* クラスタをデプロイする際には、Kubernetes および etcd コンポーネントの両方について、FIPS 固有の参照を含めてください。

正確な抜粋：

FIPS展開の場合、OSがFIPSモードであることを確認し、イメージ作成時にオフラインFIPSとFIPSオーバーライドの両方を含めて、準拠したイメージと展開を確保してください。」参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - FIPS環境におけるNKPのデプロイ」NCP-CN 6.10学習ガイド - FIPS準拠のベストプラクティス」

#### 質問: 5

ある企業がNKPクラスタ内でオートスケーリングを有効にしました。オートスケーリングの動作はどうなりますか？

**A.** 負荷条件に合わせてノードの電源オン状態/モードが変更されます。

**B.** ノードは、クラスタの必要に応じてCAPIIによって作成または削除されます。

**C.** メモリがノードにホットアドまたはホットリムーブされます。

**D.** CPUがノードにホットアドまたはホットリムーブされます。

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

#### 質問: 6

開発チームは、特定のクラスタリソースへのアクセスを必要とする新しいアプリケーションの開発に取り組んでいます。チームは、他の環境での不正な変更を防ぐために、アクセス権限を制限する必要があります。彼らが実行するタスクには、次のものが含まれます。

アプリケーションの新しいバージョンを、それぞれの専用ネームスペースにデプロイします。

需要に応じて展開規模を拡大する。

パフォーマンスを監視するために、アプリケーションのログとメトリクスを表示します。NKP GUIを使用する場合、チームはどのようなアクセス権限を設定する必要がありますか？

- A. 指揮官の役割
- B. クラスターの役割
- C. NKPの役割
- D. クラスター管理者

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 7

ある組織が研究開発用に新しいNKPクラスターを構築している。研究開発責任者は、研究開発専用インフラストラクチャ上でチームに完全な管理者アクセス権限を付与する必要がある。

エンジニアがこれらの目標を確実に達成するための適切な方法は何か？

- A. R&D」NKPワークスペースを作成する

このワークスペースに R&D」インフラストラクチャプロバイダーを作成します。

研究開発チームメンバー用に R&D」NKPグループを作成し、管理者レベルの役割を割り当てます。NKPクラスターを R&D」ワークスペースにデプロイします。

- B. 研究開発 R&D)NKPコネクタおよびインフラストラクチャプロバイダーを構築する

R&D」NKPグループを作成し、管理者レベルの役割を割り当てます。

R&D」NKPグループを R&D」NKPコネクタに割り当てます。

NKPクラスターを R&D」ワークスペースにデプロイします。

- C. R&D」NKPワークスペースを作成し、そのワークスペース内にプロジェクトを作成します。

R&D」NKPプロジェクトにNKPインフラストラクチャプロバイダーを作成します。

研究開発チームメンバー用に R&D」NKPグループを作成し、このプロジェクト内で管理者レベルの役割を割り当てます。NKPクラスターを R&D」ワークスペースにデプロイします。

- D. R&D」NKPコネクタおよびインフラストラクチャプロバイダーを作成する

R&D」NKPグループを作成し、管理者レベルの役割を割り当てます。

R&D」NKPグループを R&D」NKPインフラストラクチャプロバイダーに割り当てます。

NKPクラスターを R&D」ワークスペースにデプロイします。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10のドキュメントとNutanixのベストプラクティスでは、ワークスペースを使用してクラスターのデプロイメントとその関連インフラストラクチャプロバイダをセグメント化し、RBACによるアクセス制御を管理することを推奨しています。

一般的なワークフローは以下のとおりです。

- \* 研究開発環境専用のNKPワークスペースを作成します。
- \* そのワークスペースにスコープを設定したインフラストラクチャプロバイダー（例vSphere、AHV）を作成します。
- \* 研究開発チーム用のNKPグループを作成し、ワークスペース内でこのグループに管理者ロールを割り当てます。
- \* スコープ付きインフラストラクチャプロバイダーを活用して、このワークスペースにワークロードクラスターをデプロイします。

これにより、以下のことが保証されます。

- \* 研究開発チームは、自らのリソースに対する完全な管理権限を有している。
- \* クラスターとインフラストラクチャは、研究開発ワークスペース内で論理的に分離されています。
- \* RBACポリシーはワークスペースのコンテキスト内で適切に適用されます。

参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「ワークスペースとRBAC」 NCP-CN 6.10 学習ガイド - 「ワークスペースとクラスタ管理のベストプラクティス」

質問: 8

プラットフォームエンジニアが、NIBまたはKIBプロセスを通じてNKP用のマシンイメージを準備しています。これを行う目的は何ですか？

- A. クライアント提供の強化スクリプトを使用してOSイメージを強化する
- B. NKPクラスタノードとして使用するCAPI準拠イメージを作成する
- C. NKP専用に画像にタグ付けする
- D. NKP管理者がNKPノードにアクセスできるように、NKP管理者専用のカスタムユーザーアカウントを作成する

正解: B ([コメントを發表する](#))

質問: 9

ある企業がNKPクラスター内でオートスケーリングを有効にしました。オートスケーリングの動作はどうなりますか？

- A. CPUがノードにホットアドまたはホットリムーブされます。
- B. メモリがノードにホットアドまたはホットリムーブされます。
- C. 負荷条件に合わせてノードの電源オン状態/モードが変更されます。
- D. ノードは、クラスタの必要に応じてCAPIによって作成または削除されます。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、NKPがKubernetesノードのライフサイクルを管理するCluster API (CAPI)を使用して、クラスタの自動スケーリングをサポートしていることを説明しています。自動スケーリングが有効になっている場合、NKPはクラスタのワークロードを監視し、需要に基づいてノード数を自動的に調整します。この動作では、CAPIが必要に応じてノードを作成または削除し、クラスタをスケールアップまたはスケールダウンすることで、最適なリソース利用率を確保します。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、NKPの自動スケーリングはCluster APIを使用してワークロードの要求に応じてノードを動的に作成または削除し、クラスタの効率的なスケーリングを保証します。」と記載されています。たとえば、ワークロードが増加すると、CAPIは追加のワーカーノードをプロビジョニングします。需要が減少すると、CAPIはコスト削減のためにノードを削除します。

誤った選択肢：

- \* A. CPUがホット追加またはホット削除される: CPUのホット追加/削除はKubernetesの自動スケーリング動作ではありません。スケーリングにはノードの追加/削除が含まれます。
- \* B. メモリはホットアドまたはホットリムーブされます: CPUと同様に、このコンテキストではノードレベルでのメモリスケーリングはサポートされていません。
- \* C. ノードの電源オン状態/モードが変更されます: 自動スケーリングでは、ノードの電源状態は変更されません。ノードを追加または削除します。

：

Nutanix Kubernetesプラットフォーム管理 (NKPA) コース、オートスケーリングに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com> Cluster APIドキュメント <https://cluster-api.sigs.k8s.io>

質問: 10

開発チームは、特定のクラスタリソースへのアクセスを必要とする新しいアプリケーションの開発に取り組んでいます。チームは、他の環境への不正な変更を防ぐため、アクセス権限を制限する必要があります。

彼らが担当する業務には、以下のようなものがある。

\* アプリケーションの新しいバージョンを、それぞれの特定の名前空間にデプロイします。

需要に応じて展開規模を拡大する。

\* アプリケーションのログとメトリクスを表示してパフォーマンスを監視します。NKP GUIを使用する場合、チームはどのような種類のアクセスを設定する必要がありますか？

A. NKPの役割

B. クラスターの役割

C. クラスター管理者

D. 指揮官の役割

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、NKPがKubernetesネイティブのRBACに加えて、プラットフォーム内の権限を管理するためのロールベースアクセス制御 (RBAC) システムを提供していることを説明しています。特定のネームスペース内で特定のタスク (アプリケーションのデプロイ、デプロイメントのスケーリング、ログとメトリクスの表示など) を実行するための権限が制限されている開発チームの場合、NKP GUIにおける適切なアクセスタイプはNKPロールです。

NKPロールは、NKPプラットフォーム内で定義またはカスタム定義されたロールであり、Kubernetes RBAC権限にマッピングされますが、使いやすさを考慮してNKP UIを通じて管理されます。ワークスペースまたは名前空間内のアクションをきめ細かく制御できるため、チームは他の環境やクラスター全体のリソースにアクセスすることなく、タスク (デプロイ、スケーリング、ログの取得など) を実行できます。たとえば、次のようなNKPロールがあります。

開発者」またはカスタムロールを設定することで、チームの名前空間内での編集権限を付与しつつ、他の場所でのアクセスを制限できます。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、NKP GUI で NKP ロールを設定して開発チームに制限付き権限を付与し、名前空間内でのアプリケーションのデプロイやログの表示などの操作を許可しつつ、他の環境での不正な変更を防止します。」と記載されています。誤ったオプション:

\* B. クラスターロール: Kubernetes クラスターロールは、すべての名前空間にわたる権限を付与しますが、これはチームの限られたアクセス要件には広すぎます。

\* C. クラスター管理者: これはクラスター全体に対する完全な管理アクセス権を付与しますが、チームのニーズをはるかに超え、最小権限の原則に違反します。

\* D. コマンダーの役割: コマンダーはNKPの管理コンポーネントですが、「コマンダーの役割」はNKP GUIにおけるこの目的のための特定のアクセスタイプではありません。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、アクセス制御とRBACに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: 11

ある企業に、クラウドネイティブコンピューティングリソースを提供する必要のある新しいDevOpsチームが設立されました。このチームは、社内アプリケーションの開発、テスト、検証のために、複数のNKPクラスターへのアクセス権を必要とします。しかし、他のユーザーグループやクラスター自体の環境に悪影響を与えないよう、特定のネームスペースに限定し、そのネームスペース内のクラスター間で一貫したアクセスレベルを維持する必要があります。

この検討事項の一環として、新しいチームがクラスター上で使用できるストレージ、CPU、メモリの量も制限する必要があります。プラットフォームエンジニアには、これらの複数のNKPクラスター上でチームに適切なアクセス権限を付与する任務が与えられています。

エンジニアはこの課題をどのようにすれば最も効果的に達成できるだろうか？

A. 1.NKPプロジェクトを作成し、NKPクラスターをそれに割り当てます。

2. NKPプロジェクトの割り当て量を設定します。

3. DevOpsチーム用のNKPグループを作成します。

4. そのNKPグループに、そのNKPプロジェクト内で適切なRBACロールを割り当てます。

- B.** 1.NKPワークスペースを作成し、NKPクラスターをそれに割り当てます。  
2. NKPワークスペースのクォータを作成します。  
3. DevOpsチーム用のNKPグループを作成します。  
4. そのNKPワークスペース内で、そのNKPグループに適切なRBACロールを割り当てます。
- C.** 1.DevOpsチーム用のNKPグループを作成します。  
2. NKP UI で、その NKP グループに適切な RBAC ロールを割り当てます。  
3. NKPグループへのRBACロールの割り当てが完了したら、「YAMLへのエクスポート」オプションを選択します。  
4. kubectl を使用して、エクスポートしたマニフェストを各 NKP クラスターに適用します。
- D.** 1. NKP クラスターで Gatekeeper を有効にします。  
2. DevOpsチーム用のNKPグループを作成します。  
3. そのNKPグループにゲートキーパーのクォータと承認ポリシーを割り当てます。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPのドキュメントでは、複数のクラスターにわたるアクセス管理には、RBAC割り当てとエクスポートされたマニフェストの組み合わせを使用することを推奨しています。ロール割り当てをYAML形式でエクスポートすることで、エンジニアはこれらの設定をさまざまな環境に一貫して適用でき、新しいチームが必要なリソースと制限を確実に利用できるにすることができます。この方法は、複数のクラスターと標準化された構成を持つ環境で特に有効です。

参考資料 :Nutanix Kubernetesプラットフォーム管理ガイド - クラスター全体にわたるRBAC管理

#### 質問: 12

プラットフォームエンジニアは、NKP管理ノードとワーカーノードのデプロイ用にカスタムイメージを作成する任務を負っています。エンジニアは、これらのイメージを作成する際に適切なパッケージバージョンが使用されていることを確認する必要があります。セキュリティチームが承認しているのは、Kubernetesのバージョン1.30.5とcontainerdのバージョン1.7.22のみです。

カスタムイメージを構築する際に、エンジニアはどこで、使用されているバージョンが正しいことを確認すればよいでしょうか？

- A.** config/pulmi/vars/pulumi.kib.config  
**B.** terraform/vars/default/terraform.tfvars  
**C.** ansible/group\_vars/all/defaults.yaml  
**D.** カスタムイメージの.envファイル

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Kubernetes Platform (NKP) は、Kubernetes Image Builder (KIB) または Nutanix Image Builder (NIB) を使用して、NKP 管理ノードおよびワーカーノード用のカスタムマシンイメージを作成します。これらのイメージは、特定のバージョンの Kubernetes、コンテナランタイム (containerd など)、およびその他の依存関係を含むようにカスタマイズされます。NKPA コースでは、KIB は Ansible プレイブックを使用してイメージを構成し、Kubernetes や containerd などのパッケージのバージョンは Ansible 構成ファイルで定義されると規定されています。

パッケージのバージョンを確認する正しい場所は、ansible/group\_vars/all/defaults.yaml です。このファイルには、イメージ構築プロセス中に Ansible が使用するデフォルト変数が含まれており、Kubernetes と containerd のバージョンも含まれています。たとえば、kubernetes\_version: 1.30.5 や containerd\_version: 1.7.22 のようなエントリが含まれている場合があります。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、「KIB で Kubernetes と containerd の正しいバージョンが使用されていることを確認するには、イメージ構築のパッケージバージョンを指定する ansible/group\_vars/all/defaults.yaml ファイルを確認してください」と記載されています。エンジニアはこのファイルを確認および変更して、セキュリティチームが承認したバージョン (Kubernetes 1.30.5 および containerd 1.7.22) が使用されていることを確認できます。

誤った選択肢：

\* A. config/pulumi/vars/pulumi.kib.config: Pulumilはインフラストラクチャ・アズ・コードツールですが、KIBではパッケージバージョンの指定には使用されていません。NKPAコースではこのファイルは参照されていません。

\* B. terraform/vars/default/terraform.tfvars: Terraform はインフラストラクチャのプロビジョニングに使用され、KIB イメージ内のソフトウェア バージョンを定義するために使用されません。

\* D. カスタムイメージの .env ファイル: KIB はバージョン構成に .env ファイルを使用しません。代わりに Ansible 変数を使用します。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、イメージ構築に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP 導入の前提条件に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com> Kubernetes Image Builderドキュメント <https://image-builder.sigs.k8s.io>

### 質問: 13

開発チームは、効率的なログ記録システムを導入し、大量のログを拡張性の高い方法で管理するために、ストレージとしてAWS S3を使用することを決定しました。

チームは以下の手順を踏んだ。

\* WORKSPACE\_NAMESPACE変数を、前の手順でコピーした名前空間に設定します。

\* ConfigMapを上書きしてストレージ構成を更新する構成を作成しました。

\* grafana-loki AppDeployment を更新して設定の上書きを適用しましたが、実装に失敗しました。AWS でログストレージを管理できるようにするには、チームはどうすればよいでしょうか？

A. AWSストレージに対応するIPアドレスを設定します。

B. 静的なAWS S3認証情報を含むシークレットを作成します。

C. AWS 上にテナントを作成します。

D. NKP専用の新しいIAMロールを設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10 のドキュメントに記載されているように、Loki でログ保存に外部ストレージ (AWS S3 など) を使用する場合、AWS 認証情報を安全に提供する必要があります。通常、これには静的な AWS 認証情報 (アクセスキー ID とシークレットアクセスキー) を含む Kubernetes Secret を作成し、それをオーバーライド ConfigMap で参照して Loki の S3 ストレージバックエンドを認証します。

ドキュメントからの重要な参照箇所：

「LokiがログをS3バケットに保存するには、AWS認証情報をKubernetesシークレットとして作成し、ストレージ構成で参照する必要があります。」参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「Loki外部ストレージ構成」NCP-CN 6.10学習ガイド - ログ記録を伴う外部ストレージバックエンドの使用」

### 質問: 14

ある企業は開発用にArtifactoryのプライベートレジストリを使用しています。セキュリティ管理者がパブリックコンテナレジストリへの接続を拒否するようにファイアウォールを設定しているため、NKPのデプロイメントはこのプライベートレジストリを使用する必要があります。最初のタスクは、NKPバンドルをこのプライベートレジストリにプッシュすることです。

NKPバンドルをこのプライベートレジストリにプッシュするには、どのようなオプションを使用すればよいですか？

A. --registry-mirror-url、--registry-mirror-username、--registry-mirror-password

B. --mirror-url、--mirror-username、--mirror-password

C. --to-registry、--to-registry-username、--to-registry-password

D. --registry-url、--registry-username、--registry-password

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

#### 質問: 15

Kubernetes管理者は、ワークスペースに新しいワークロードクラスタをデプロイする際に、以下の要件が満たされていることを確認する必要があります。

\* Grafanaのログ記録

\* グラフ・ロキ

\* プロジェクトログ記録 管理者は、これらのコンポーネントがクラスタ展開の一部として展開されることをどのように確認しますか？

A. ワークスペースの「インサイト」セクションで有効にします。

B. ワークスペースのプロジェクトセクションで有効にします。

C. ワークスペースの「クラスター」セクションで有効にします。

D. ワークスペースのアプリケーションセクションで有効にします。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、Grafana Logging、Grafana Loki、Project LoggingなどのNKPプラットフォームアプリケーションがKubernetesクラスターにデプロイされ、監視およびログ記録機能を提供すると詳しく説明されています。これらのコンポーネントがワークスペース内の新しいワークロードクラスターに自動的にデプロイされるようにするには、管理者はNKP UIのワークスペース構成の「アプリケーション」セクションでこれらのコンポーネントを有効にする必要があります。

コースでは、アプリケーション セクションでは、管理者がワークスペース内のすべてのクラスターに適用するプラットフォーム アプリケーションを選択して構成できることを説明しています。Grafana Logging、Grafana Loki (ログ集約用)、およびプロジェクト Logging (プロジェクト固有のログ管理用) を有効にすると、これらのコンポーネントはクラスター プロビジョニング プロセスの一部として自動的にデプロイされます。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、「Grafana Loki やログ コンポーネントなどのプラットフォーム アプリケーションを新しいクラスターにデプロイするには、NKP UI のワークスペース設定のアプリケーション セクションでそれらを構成します」と記載されています。誤ったオプション:

\* A. ワークスペースの Insights セクションで有効にします。Insights セクションは、分析および監視ダッシュボード用であり、ログコンポーネントをデプロイするためのものではありません。

\* B. ワークスペースの [プロジェクト] セクションでそれらを有効にします。プロジェクトは、リソース割り当てのためのワークスペース内のサブディビジョンであり、プラットフォーム アプリケーションを構成するためのものではありません。

\* C. ワークスペースの「クラスター」セクションで有効にします。「クラスター」セクションは、クラスター設定を管理するためのものであり、プラットフォーム アプリケーションを有効にするためのものではありません。

:

Nutanix Kubernetesプラットフォーム管理 (NKPA) コース、プラットフォームアプリケーションのデプロイに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

#### 質問: 16

クラウドエンジニアは、クラウド上で稼働しているNKPクラスターを構成し、コンテナワークロードを実行するためのリソース容量を動的に拡張および圧縮できるようにしたいと考えています。これにより、予測不可能な急増と停滞が頻繁に発生するオンライン小売取引のパフォーマンスに影響を与えることなく、リソースの効率的な使用を確保できます。

NKPはどの自動スケーリング方式を採用しており、どのようにスケーリングするのですか？

A. Horizontal-Podオートスケーラーとワーカーノードレプリカ

- B. Horizontal-PodオートスケーラーとワーカーノードのCPU/メモリサイジング
- C. クラスタオートスケーラーとワーカーノードレプリカ
- D. クラスタオートスケーラーとワーカーノードのCPU/メモリサイジング

正解: ([正解を表示します](#))

NKPは、クラスタオートスケーラーを使用してワーカーノードのレプリカをスケールアップまたはスケールダウンします。これにより、ワーカーノードの数を調整することで、リソースの可用性がワークロードの需要に動的に一致することが保証されます。Podレベルのオートスケーリング (Horizontal-Podオートスケーラー) もPodのスケールリングにサポートされていますが、ノードプールの拡張や圧縮は担当していません。

主要参考資料：

NKPはクラスタオートスケーラーを使用して、クラスタのリソース需要に応じてワーカーノードプールレプリカを動的に調整します。」参照：  
Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「ノードプール向けクラスタオートスケーラー」 NCP-CN 6.10 学習ガイド - 「クラスタオートスケーラーと水平ポッドオートスケーラーの比較」

有効的な**NCP-CN**問題集はJPNTest.com提供され、**NCP-CN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**NCP-CN**試験問題集を提供します。JPNTest.com NCP-CN試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-CN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-CN-mondaishu> 111問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

あるeコマース企業は、休日には同時トラフィックの大幅な増加によりサービスが低下するという問題を抱えているため、NKPクラスターにオートスケーリング構成を適用することを決定した。

展示図に示されている構成を最も適切に説明しているのは、次のうちどれですか？

- A. オートスケーラーは必要に応じてノード数を増やすことができますが、3未満に減らすことはありません。
- B. オートスケーラーはノード数を最大15まで増やすことができますが、3未満に減らすことはできません。
- C. オートスケーラーは15ノードまたは3ノードを持つことができます。
- D. オートスケーラーはノード数を最大3まで増やすことができますが、15未満に減らすことはできません。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 18

Refer to the exhibit.



```
nutanix.kib_image: TASK [offline : upload mindthegap] *****
nutanix.kib_image: changed: [default]
nutanix.kib_image: TASK [offline : create offline OS packages directory] *****
nutanix.kib_image: changed: [default]
nutanix.kib_image: TASK [offline : upload OS packages bundle to remote] *****
nutanix.kib_image: An exception occurred during task execution. To see the full traceback, use -vvv. The error was: If you are using a module
and expect the file to exist on the remote, see the remote_src option
nutanix.kib_image: fatal: [default]: FAILED! => {"changed": 1, "msg": "Could not find or access '/home/bovan01/nkp-v2.12.0/cli/.nkp-ima
ge-builder-3834907389/playbooks/./artifacts/1.29.6_ubuntu_22.04_x86_64.tar.gz' on the Ansible Controller.\nIf you are using a module and expec
t the file to exist on the remote, see the remote_src option"}
nutanix.kib_image: PLAY RECAP *****
nutanix.kib_image: default: 12=12 changed=4 unreachable=0 failed=1 skipped=2 rescued=0 ignored=0
=> nutanix.kib_image: Provisioning step has errors: Running the cleanup provisioner, if present...
=> nutanix.kib_image: Force deleting virtual machine...
nutanix.kib_image: Virtual machine successfully deleted
build 'nutanix.kib_image' errored after 40 seconds 457 milliseconds: Error executing Ansible: Non-zero exit status: exit status 2
=> Wait completed after 40 seconds 457 milliseconds
```

プラットフォームエンジニアが、Nutanixインフラストラクチャ上に新しいNKPクラスタをエアギャップ環境にデプロイする準備を進めています。準備プロセスの一環として、エンジニアは、企業のOSイメージ強化基準に準拠したUbuntu 22.04インスタンスをNKPクラスタノード用に用意しています。しかし、NIBの準備プロセス中に、図に示すエラーが発生しました。

NIBの準備が失敗した可能性のある理由は何ですか？

- A. エンジニアは、NIB-prep コマンドで OS パッケージ バンドルの inartifacts ディレクトリを指定しました。
- B. Ubuntu 22.04 は Nutanix インフラストラクチャ上の NKP ノードでサポートされている OS ではないため、必要な OS パッケージ バンドルが存在しません。
- C. エンジニアは、NIB準備の試行前に、必要なNKPイメージをローカルレジストリにシードしていません。
- D. エンジニアは、NIB準備の試行前にOSパッケージバンドルを作成していません。

正解: ([正解を表示します](#))

エラーメッセージは次のとおりです。

二

コピー

'/home/.../nkp-image-builder-.../playbooks/.../artifacts/1.29.6\_ubuntu\_22.04\_x86\_64' が見つからないか、アクセスできませんでした。  
tar.gz'

これは、OSパッケージバンドル (artifacts/1.29.6\_ubuntu\_22.04\_x86\_64.tar.gz) が作成されていないか、または存在しないことを示しています。OSパッケージバンドルの作成は、NIBワークフローにおける前提条件です。

主要参考資料：

\* Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - NIB 用の OS パッケージ バンドルの作成」

\* NCP-CN 6.10 学習ガイド - NIB準備の前提条件」

質問: 19

開発者がプラットフォームエンジニアに、ワークスペース `iot-plant-3` 内の `iot-1` というクラスターのデプロイメントを確認するよう依頼しましたが、エンジニアは `kubeconfig` ファイルを持っていません。Kubernetes クラスターを確認するために `kubeconfig` ファイルを生成する有効なコマンドはどれですか？

- A. `kubectl get kubeconfig --cluster-name=iot-1 -w iot-plant-3 > iot-1.conf`
- B. `nkp get kubeconfig -c iot-1 -w iot-plant-3 > iot-1.conf`
- C. `kubectl get secret iot-1 -n kommander > iot-1.conf`
- D. `nkp get configmaps -n iot-plant-3 -c iot-1 > iot-1.conf`

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAのコースでは、ワークスペース`iot-plant-3`内の`iot-1`など、NKPによって管理されているKubernetesクラスターにアクセスするには、クラスターのAPIサーバーと認証およびやり取りするための`kubeconfig`ファイルが必要であることを説明しています。

`kubeconfig` ファイルが存在しない場合は、エンジニアは NKP CLI を使用して生成できます。正しいコマンドは `nkp get kubeconfig -c iot-1 -w iot-plant-3 > iot-1.conf` (オプション B) です。

このコマンドは、指定されたワークスペース (-w `iot-plant-3`) 内の指定されたクラスター (-c `iot-1`) の `kubeconfig` を取得し、出力を `iot-1.conf` という名前のファイルにリダイレクトします。エンジニアは、この `kubeconfig` ファイルを `kubectl` (例: `kubectl --kubeconfig=iot-1.conf get pods`) で使用して、デプロイメントを確認できます。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、NKP 管理クラスターの `kubeconfig` ファイルを生成するには、`nkp get kubeconfig -c <cluster-name> -w <workspace-name>` を使用します。このコマンドは、クラスター アクセスに必要な認証情報を取得します。」と記載されています。誤ったオプション:

- \* A. `kubectl get kubeconfig`: `kubectl` には `get kubeconfig` サブコマンドがなく、NKP クラスター用の `kubeconfig` ファイルを生成することはできません。
- \* C. `kubectl get secret iot-1 -n kommander`: `kommander` 名前空間のシークレットには認証情報が格納されますが、このコマンドではそれらを `kubeconfig` ファイルとしてフォーマットしません。
- \* D. `nkp get configmaps`: これは `kubeconfig` ファイルを取得するための有効なコマンドではありません。`ConfigMaps` はこのコンテキストでは `kubeconfig` データを格納しません。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、クラスターアクセス管理に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

## 質問: 20

ある企業に、クラウドネイティブコンピューティングリソースを提供する必要がある新しいDevOpsチームが設立されました。このチームは、社内アプリケーションの開発、テスト、検証のために、複数のNKPクラスターへのアクセス権を必要とします。しかし、他のユーザーグループやクラスター自体の環境に悪影響を与えないよう、特定のネームスペースに限定し、そのネームスペース内のクラスター間で一貫したアクセスレベルを維持する必要があります。

この検討事項の一環として、新しいチームがクラスター上で使用できるストレージ、CPU、メモリの量も制限する必要があります。プラットフォームエンジニアには、これらの複数のNKPクラスター上でチームに適切なアクセス権限を付与する任務が与えられています。

エンジニアはこの課題をどのようにすれば最も効果的に達成できるだろうか？

- A. 1.NKPプロジェクトを作成し、NKPクラスターをそれに割り当てます。2.NKPプロジェクトのクォータを作成します。3.DevOpsチーム用のNKPグループを作成します。4.そのNKPグループに、そのNKPプロジェクト内で適切なRBACロールを割り当てます。
- B. 1. DevOps チーム用の NKP グループを作成します。2. NKP UI でその NKP グループに適切な RBAC ロールを割り当てます。3. NKP グループへの RBAC ロールの割り当てが完了したら、yaml にエクスポートするオプションを選択します。4. `kubectl` を使用して、エクスポートしたマニフェストを各 NKP クラスターに適用します。
- C. 1. NKP クラスターで Gatekeeper を有効にします。2. DevOps チーム用の NKP グループを作成します。3. その NKP グループに Gatekeeper のクォータと承認ポリシーを割り当てます。

**D.** 1.NKPワークスペースを作成し、NKPクラスタをそれに割り当てます。2.NKPワークスペースのクォータを作成します。3.DevOpsチーム用のNKPグループを作成します。4.そのNKPワークスペース内で、そのNKPグループに適切なRBACロールを割り当てます。

正解: ([正解を表示します](#))

#### 質問: 21

プラットフォームエンジニアはサービスプロバイダーに勤務しており、複数のクライアントがNKPクラスタにアクセスし、認証を行う必要があります。各クライアントは、クラスタへの認証に使用する独自のLDAPソースを持っています。

これはどのように実現されるのでしょうか？

**A.** クライアントごとにNKPプロジェクトが作成され、各NKPプロジェクトごとにLDAPコネクタが作成されます。ユーザーはログイン時に、所属企業に割り当てられたプロジェクト名を入力します。

**B.** LDAPコネクタの設定が変更され、認証に使用する各クライアントLDAPソースの配列が含まれるようになります。ユーザーは、ログイン時に配列で定義されたクライアント名を入力します。

**C.** 共通のLDAPソースを確立し、この共通LDAPプロバイダ内でクライアント固有のグループとユーザーを設定する必要があります。その後、このLDAPプロバイダ用のLDAPコネクタを作成します。

**D.** クライアントごとに NKP ワークスペースを作成する必要があり、NKP ワークスペースごとに LDAP コネクタが作成されます。

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

#### 質問: 22

以前、EKS クラスタが NKP (フリート管理) で管理されるように設定されました。今回、プラットフォーム エンジニアはライセンス上の理由から、EKS クラスタを NKP から切断するように指示されました。クラスタを切断した後、開発者は EKS クラスタが NKP から正常に切り離されたにもかかわらず、アプリケーションの変更が EKS クラスタに反映され続けていることに気づきました。エンジニアはこの問題をどのように解決すべきでしょうか？

**A.** 開発者がデプロイ設定ファイルに何らかの不適切な設定を行っている可能性があります。修正を依頼するか、AWSテクニカルサポートにお問い合わせください。

**B.** 分離されたクラスタの Flux インストールは、管理 Git リポジトリから手動で切断する必要があります: `kubectl -n kommander-flux patch gitrepo management -p '{"spec":{"suspend":true}}' --type merge`

**C.** EKSクラスタを強制的に切り離す: `nkp detach cluster -c detached-cluster-name --force`

**D.** 分離されたクラスタもNKPから削除する必要があります: `nkp delete cluster -c detached-cluster-name`

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

#### 質問: 23

NKP Proライセンスティアでは、どのオプションが有効になりますか？

**A.** Kubernetesダッシュボード

**B.** 車両管理

**C.** AIオペレーション

**D.** インサイト

正解: ([正解を表示します](#))

#### 質問: 24

```

NODEPOOL DESIRED READY KUBERNETES VERSION
md-0      10      10      v1.29.9
md-1      1       1       v1.29.9

[nutanix@nkp-boot ~]$ kubectl get nodes --kubeconfig=demo.conf
NAME                                STATUS ROLES         AGE    VERSION
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-24rgz Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-6cmwz Ready  <none>    22h    v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-9hkgd Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-dqzlx Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-j45lw Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-nbbjj Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-r5sdb Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-rgczs Ready  <none>    22h    v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-swtfb Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-0-gs6c5-n2kp5-znb72 Ready  <none>    127m   v1.29.9
demo-md-1-hq2sz-mw4p6-fptcc Ready  <none>    6h15m  v1.29.9

```

Kubernetes クラスタ「demo」のノードプールを確認すると、「md-1」という名前のノードプールがあり、ワーカーが1つしか含まれていません。このワーカーは、ノードプール「md-1」とともに削除する必要があります。

この課題はどのように達成すべきでしょうか？

- A. `nkp delete nodepool md-1 --cluster-name=demo` を実行します。
- B. `acli vm.delete demo-md-1-hQ2sz-mw4p6-fptc` を実行します。
- C. `ncli vm.delete demo-md-1-hQ2sz-mw4p6-fptc` を実行します。
- D. `nkp node scale nodepool md-1 --replicas=0 --cluster-name=demo` を実行します

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10 のドキュメントでは、NKP クラスタ内のノード プール全体 (ワーカー ノードを含む) を削除する際の推奨される方法は、`nkp delete nodepool` コマンドを使用することであると明記されています。このコマンドは、指定されたノード プールと関連するすべてのリソースを、制御された安全な方法でクラスタから削除します。

ドキュメントからの重要な参照箇所：

「`nkp delete nodepool <nodepool-name> --cluster-name=<cluster-name>` を使用して、ノードプールとその関連リソースを安全に削除してください。」ACLI または NCLI を介した VM の手動削除は、Kubernetes および NKP のリソースライフサイクルを迂回するため、孤立したリソースが残ったり、クラスタの状態が不整合になったりする可能性があるため、推奨されません。

参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - ノードプールの削除」NCP-CN 6.10 学習ガイド - ノードプールのライフサイクル管理」

## 質問: 25

クラウドエンジニアがAWSにNKPクラスタをデプロイしています。この環境はテスト目的のみに使用されるため、AWSチームはクラウド利用料金を削減するために最小限のシステムリソースを使用するようにデプロイするよう要求しています。`nkp install kommander` コマンドセットを使用してKommanderのインストールを初期化する際に、指定すべき2つのパラメーターはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. `--リクエストタイムアウト`

- B. --init
- C. --yaml
- D. --wait-timeout

正解: **B,D** ([コメントを發表する](#))

#### 質問: 26

プラットフォーム エンジニアが KIB を使用して AWS インスタンスを NKP クラスタ ノードにするための準備を行っています。このプロセス中に、ソース AMI のクローン作成は正常に完了し、クローンされた AMI に対して OS リリース情報の収集やイメージバンドルのアップロードなど、複数の準備手順が実行されました。しかし、プロセス中にエラーが発生し、最終的に失敗しました。この問題の根本原因を特定するのに役立つトラブルシューティング手順として、エンジニアが実行できるものは何でしょうか？

- A. KIBコマンドを再実行し、エラー発生時にクローンされたAMIを自動的に削除しないようにAnsibleに指示するパラメータを含めます。これにより、OSイメージにアクセスしてさらに検査することができます。
- B. 一時停止パラメータを含めて KIB コマンドを再実行し、準備処理を続行する前に KIB-prep シーケンス内の各コマンドとその戻り値を詳細に確認できるようにします。
- C. KIBコマンドを再実行し、エラー発生時にクローンされたAMIを自動的に削除しないようにPackerに指示するパラメータを含めてください。これにより、OSイメージにアクセスしてさらに検査することができます。
- D. KIB コマンドを再実行し、詳細度レベルをデバッグに設定するパラメータを含めることで、発行されたすべての AWS CLI コマンドとその戻り値が含まれ、レビュー用のエクスポートされたログ ファイルに追加されます。

正解: ([正解を表示します](#))

#### 質問: 27

プラットフォームエンジニアが既存のKubernetesクラスターをNKPに接続しようとしていますが、一部のクラスターにはネットワーク制限があるため、セキュアトンネルを使用する必要があります。プラットフォームエンジニアは、セキュリティエンジニアにファイアウォールルールの変更を依頼する必要があります。ファイアウォールルールでは、接続されたクラスタネットワーク上で何を許可する必要があるのでしょうか？

- A. セキュアなLDAP (TCP/636)
- B. HTTPS (TCP/443)
- C. NTPサービス (UDP/123)
- D. iSCSI (TCP/860 & 3260)

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

#### 質問: 28

NKPを導入する以前、ある企業はkubeadmを使用して多数のKubernetes (K8s) クラスタを作成していました。NKPを介して新しいマネージドクラスターをデプロイする一方で、同社は既存のネイティブK8sクラスターから新しいNKPクラスターへワークロードを移行することを現時点では望んでいません。これらのクラスターをNKP管理クラスターに接続するための要件は何ですか？

- A. NKP管理クラスターは、対象クラスターのサービスおよびapi-serverにアクセスする必要があります。
- B. K8s クラスタのバージョンは、NKP 管理クラスターの Kubernetes バージョンから N - 1 以内である必要があります。
- C. K8sクラスター上にNKP管理クラスター管理者アカウントを確立する必要があります。
- D. K8s クラスタのバージョンは、NKP 管理クラスターの Kubernetes バージョンと一致している必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 29

プラットフォームエンジニアは、NKPクラスタへのユーザー認証を設定するために、どの手順に従うべきですか？

- A. ユーザーベースのIDプロバイダーへのMetalLBコネクタを作成します。
- B. Gatekeeperを有効にし、ユーザーベースのIDプロバイダーへのコネクタを作成します。
- C. ユーザーベースのIDプロバイダーへのDexコネクタを作成します。
- D. ネイティブNKP認証を無効にし、Traefikを有効にし、ユーザーベースのIDプロバイダーへのコネクタを作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 30

プラットフォームエンジニアは、NKP Ultimateライセンスを使用して新しいワークスペースを作成し、そのワークスペース内に新しいKubernetesクラスターを作成する必要があります。しかし、図に示すように、クラスターの作成」オプションがグレー表示されていることにエンジニアは気づきました。エンジニアはこの問題をどのように解決すべきでしょうか？

- A. NKPが最低でもバージョン2.12にアップグレードされていることを確認してください。
- B. ワークスペース用のインフラストラクチャプロバイダーを作成します。
- C. GUIを使用せず、YAMLのみを使用してクラスターを作成します。
- D. 新しいクラスターを作成する代わりに、既存のクラスターを接続します。

正解: B ([コメントを発表する](#))

質問: 31

ある通信会社では、2つのチームがそれぞれ異なる2つのアプリケーションの開発に取り組んでいた。

アプリケーションA

ApplicationBとApplicationAの開発チームは、新機能のリリースに胸を躍らせていました。しかし、アプリケーションをデプロイしてみると、パフォーマンスが遅いことに気づきました。調査の結果、ApplicationBチームがクラスターのリソースの大部分を消費しており、他のすべてのチームに影響が出ていることが判明しました。この問題をどのように軽減できるでしょうか？

- A. ネットワークポリシーの設定
- B. 継続的デプロイメント (CD)の実装
- C. RBACの設定
- D. 割り当てと制限範囲の実施

正解: D ([コメントを発表する](#))

有効的な**NCP-CN**問題集はJPNTTest.com提供され、**NCP-CN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**NCP-CN**試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-CN試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-CN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-CN-mondaishu> 111問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

Refer to the exhibit.



```
kubectl create namespace tenant-innovation
kubectl create namespace tenant-analytics
```

DevOpsチームは、NKPクラスタ内の複数のアプリケーションからのログを管理するという、ますます深刻化する課題に直面している。複数のチームが異なるプロジェクトに取り組んでいるため、各チームが自身のログに安全かつ効率的にアクセスできるマルチテナントロギングシステムを実装することが不可欠です。図に示すように、最初は各プロジェクトに2つの名前空間が設定されています。次に、各テナントにロギング構成を含む ConfigMap も設定されています。どの YAML 出力が保持期間に対応しますか？

テナント向けイノベーションに30日間、テナント向け分析に7日間？

**A. yaml**

折りたたみラップ

コピー

APIバージョン: v1

種類: ConfigMap

メタデータ:

名前: logging-innovation-config

名前空間: tenant-innovation

データ :

values.yaml: |

ロキ :

構造化設定:

制限設定:

保持期間: 30日

---

APIバージョン: v1

種類: ConfigMap

メタデータ:

名前: logging-analytics-config

名前空間: tenant-analytics

データ :

values.yaml: |

ロキ :

構造化設定:

制限設定:

保持期間: 7日間

**B. yaml**

折りたたみラップ

コピー

APIバージョン: v1

種類: ConfigMap

メタデータ:  
名前: logging-innovation-config  
名前空間: tenant-innovation  
データ :  
values.yaml: |  
ロキ :  
構造化設定:  
制限設定:  
保持期間: 30日  
---

APIバージョン: v1  
種類: ConfigMap  
メタデータ:  
名前: logging-analytics-config  
名前空間: tenant-innovation  
データ :  
values.yaml: |  
ロキ :  
構造化設定:  
制限設定:  
保持期間: 7日間

C. yaml  
折りたたみラップ  
コピー

APIバージョン: v1  
種類: ConfigMap  
メタデータ:  
名前: logging-innovation-config  
名前空間: tenant-innovation  
データ :  
values.yaml: |  
ロキ :  
構造化設定:  
制限設定:  
保持期間: 30時間  
---

APIバージョン: v1  
種類: ConfigMap  
メタデータ:  
名前: logging-analytics-config

```
名前空間: tenant-analytics
データ :
values.yaml: |
ロキ :
構造化設定:
制限設定:
保持期間: 7時間
D. yaml
折りたたみラップ
コピー
APIバージョン: v1
種類: ConfigMap
メタデータ:
名前: logging-innovation-config
名前空間: テナント
データ :
values.yaml: |
ロキ :
構造化設定:
制限設定:
保持期間: 30日
---
APIバージョン: v1
種類: ConfigMap
メタデータ:
名前: logging-analytics-config
名前空間: テナント
データ :
values.yaml: |
ロキ :
構造化設定:
制限設定:
保持期間: 7日間
正解: (正解を表示します)
```

NKPAのコースでは、NKPがマルチテナントログシステムを実装するために、ログスタックの一部としてGrafana Lokiを使用していることが説明されています。これにより、各チームはそれぞれのネームスペース内でログに安全にアクセスできます。図には、tenant-innovationとtenant-analyticsという2つのネームスペースが示されており、それぞれにログ設定用のConfigMapがあります。要件は、tenant-innovationの保持期間を30日間、tenant-analyticsの保持期間を7日間に設定することです。

正しいYAML出力 オプションA)では、適切な名前空間のConfigMapを使用してLokiの保持期間を設定します。

\* tenant-innovation の場合、tenant-innovation 名前空間の ConfigMap logging-innovation-config で retention\_period: 30d が設定されます。

\* tenant-analytics の場合、tenant-analytics 名前空間の ConfigMap logging-analytics-config で retention\_period: 7d が設定されます。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、NKP では、名前空間ごとに ConfigMap を作成し、loki の下に保持期間を指定することで、Grafana Loki を使用してマルチテナントのログ記録を構成します。」と記載されています。

structuredConfig.limits\_config.retention\_period (例: 30d は 30 日間、7d は 7 日間)。d の接尾辞は日数を表し、30 日間と 7 日間の保持期間の要件に合致しています。

誤った選択肢：

\* B: 2 番目の ConfigMap が tenant-analytics ではなく tenant-innovation 名前空間を誤って使用しているため、マルチテナントの分離が損なわれています。

\* C: 保持期間が30時間と7時間（時間に設定されており、30日と7日（日に設定されていないため、要件を満たしていません）。

\* D: どちらのConfigMapも汎用テナント名前空間を使用しており、図に示されている特定の名前空間（tenant-innovation、tenant-analytics）と一致しません。

：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、Loki を使用したマルチテナントログに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com> Grafana Lokiドキュメント <https://grafana.com/docs/loki>

### 質問: 33

クラウドエンジニアがAWSにNKPクラスターをデプロイしています。この環境はテスト目的のみに使用されるため、AWSチームはクラウド利用料金を削減するために最小限のシステムリソースを使用するようにデプロイするよう要求しています。nkp install kommanderコマンドセットを使用してKommanderのインストールを初期化する際に、指定すべき2つのパラメーターはどれですか？ 2つ選択してください。）

A. --リクエストタイムアウト

B. --wait-timeout

C. --yaml

D. --init

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、nkp install kommanderコマンドを使用してAWS上にNKP管理クラスターをデプロイする方法を詳しく解説します。このコマンドは、フリー管理を担当するKommanderコンポーネントをインストールします。リソース使用量を最小限に抑えたテスト環境の場合、エンジニアはタイムアウトや初期化設定を制御するパラメータを調整することでインストールプロセスを最適化し、オーバーヘッドを削減して、小規模なインフラストラクチャでも効率的にデプロイを完了させることができます。

関連する2つのパラメータは以下のとおりです。

\* --wait-timeout (オプション B): このパラメーターは、nkp install kommander コマンドが Kommander コンポーネントの準備が整うまで待機する最大時間を設定します。リソースが最小限のテスト環境では、CPU とメモリが限られているため、コンポーネントの起動に時間がかかる場合があります。待機タイムアウトを短くする (例: --wait-timeout=10m) ことで、コマンドが永久にハングアップするのを防ぎ、必要に応じてエンジニアがトラブルシューティングを行うことができます。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには次のように記載されています。「

--wait-timeoutオプションをnkp install kommanderに付けることで、コンポーネントの準備完了までの待機時間を調整できます。これは、リソースの少ない環境で役立ちます。

\* --init (オプション D): このパラメータは、テスト環境に適した、最小限のリソース使用量に最適化されたデフォルト設定で Kommander のインストールを初期化します。これにより、Kommander は軽量構成でデプロイされ、リソース使用量が削減されます (レプリカ数が少なくなり、リソース要求も少なくなります)。NKPA コースの注記: nkp install kommander の --init フラグは、テスト目的で最小限の構成を設定し、AWS でのリソース使用量を最小限に抑えます。」不適切なオプション:

\* A. --request-timeout: このパラメータは nkp install kommander には関係ありません。通常はインストール最適化ではなく、API リクエストのタイムアウトに使用されます。

\* C. --yaml: このパラメータはカスタム YAML 設定ファイルを指定しますが、質問では最小限のリソース使用量を求めているため、デフォルトの軽量設定である --init を使用の方が適しています。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、AWS への Kommander のデプロイに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP クラスタの構築に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

#### 質問: 34

プラットフォームエンジニアは、NKPクラスタへのユーザー認証を設定するために、どの手順に従うべきですか？

A. Gatekeeperを有効にし、ユーザーベースのIDプロバイダーへのコネクタを作成します。

B. ネイティブNKP認証を無効にし、Traefikを有効にし、ユーザーベースのIDプロバイダーへのコネクタを作成します。

C. ユーザーベースのIDプロバイダーへのMetalLBコネクタを作成します。

D. ユーザーベースのIDプロバイダーへのDexコネクタを作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、Day 2運用の一環としてNKPクラスターのユーザー認証について解説し、ユーザーアクセスを安全に管理するための外部IDプロバイダー (IdP) との連携を重視します。NKPは、OpenID Connect (OIDC) IDプロバイダーであるDexを使用し、KubernetesクラスターとLDAP、SAML、OAuthベースのシステムなどの外部IdP間のコネクタとして機能することで認証を容易にします。

このコースでは、ユーザー認証を設定するには、プラットフォーム エンジニアが Dex コネクタをユーザー ベースの ID プロバイダに構成する必要があると説明しています。Dex は Kubernetes API サーバーと統合して OIDC ベースの認証を有効にし、ユーザーが IdP の認証情報を使用してログインできるようにします。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、「NKP は Dex を介したユーザー認証をサポートしており、外部 ID プロバイダとの OIDC 統合により、クラスタ アクセスのシングル サインオン (SSO) が可能になります」と記載されています。このプロセスには、Dex をプラットフォーム アプリケーションとしてデプロイし、IdP コネクタを構成し (クライアント ID、シークレット、エンドポイントの指定など)、Kubernetes API サーバーを更新して OIDC 認証を使用するようにすることが含まれます。

誤った選択肢:

\* A. Gatekeeperを有効にし、ユーザーベースのIDプロバイダーへのコネクタを作成します。Gatekeeperは、認証ではなく、アクセス制御ポリシーを適用するために使用されるKubernetesポリシーエンジンです。NKPAコースでは、Gatekeeperをユーザー認証とは関連付けていません。

\* B. ネイティブ NKP 認証を無効にし、Traefik を有効にして、ユーザーベースの ID プロバイダーへのコネクタを作成します。Traefik は外部トラフィックを管理するためのインGRESS コントローラーであり、認証のためのものではありません。

NKPはネイティブ認証方式に加えOIDCもサポートしているため、ネイティブ認証を無効にする必要はありません。NKPAのコースでは、認証に関してTraefikについては触れていません。

\* C. ユーザーベースのIDプロバイダーへのMetalLBコネクタを作成します。MetalLBはベアメタルKubernetesクラスターのロードバランサーであり、認証コンポーネントではありません。NKPAコースの規定により、このオプションは関係ありません。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、ユーザー認証と認可に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP 2 日目の運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com> Dexドキュメント <https://dexidp.io>

質問: 35

プラットフォームエンジニアが、Nutanix AHVとAWSの複数のNKPクラスタ向けにカスタムOSイメージをデプロイしたいと考えています。カスタムイメージの作成と各イメージリポジトリへの配置を容易にするためにバンドルされているツールはどれですか？ (2つ選択可能)

- A. コンボイイメージビルダー
- B. Nutanix Image Builder
- C. テラフォーム
- D. アンシブル

正解: ([正解を表示します](#))

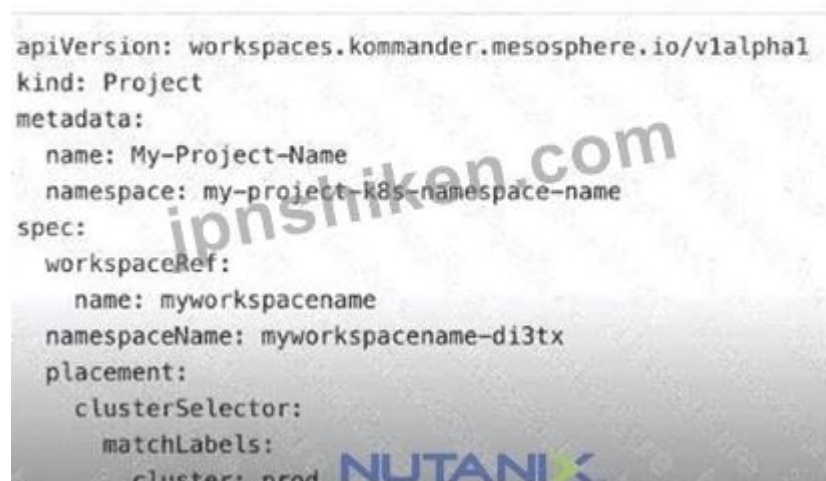
包括的かつ詳細な説明：

Konvoy Image Builder (KIB) と Nutanix Image Builder (NIB) はどちらも、NKP 環境に適したカスタム OS イメージを作成および管理するためのツールです。KIB は Konvoy ベースの環境で要求される標準に準拠したイメージを構築する役割を担い、NIB は Nutanix AHV インフラストラクチャとの直接統合を前提として設計されています。これらのツールは、イメージの自動準備、セキュリティ強化、および適切なリポジトリへのアップロードをサポートします。

参考資料 :Nutanix Kubernetes Platform 管理ガイド - イメージ準備ツール

質問: 36

Refer to the exhibit.



```
apiVersion: workspaces.kommander.mesosphere.io/v1alpha1
kind: Project
metadata:
  name: My-Project-Name
  namespace: my-project-k8s-namespace-name
spec:
  workspaceRef:
    name: myworkspacename
    namespaceName: myworkspacename-di3tx
  placement:
    clusterSelector:
      matchLabels:
        cluster: prod
```

プロジェクトを作成した後、管理者は新しいソフトウェアリリースが両方の環境に自動的にデプロイされるように、どのような設定を行う必要がありますか？

- A. 継続展開 (CD)
- B. 継続的統合 (CI)
- C. プロジェクトシークレット
- D. プロジェクト構成マップ

正解: ([正解を表示します](#))

継続的デプロイメント (CD) とは、ビルドとテストが成功した後、新しいソフトウェアリリースを複数の環境に自動的に展開する手法です。NKPにおいては、CDを有効にすることで、ソフトウェアの変更がプロジェクトに関連するすべてのクラスターに一貫して確実に展開され、運用上の均一性と迅速な機能導入が実現します。

参考資料 :Nutanix Kubernetes Platform 管理ガイド - NKP の CI/CD 統合

質問: 37

プラットフォームエンジニアが、インターネット接続を備えた新しいNKPクラスタをデプロイしています。現在、クラウド管理者とセキュリティ管理者が、NKP Kubernetesクラスタとコンテナレジストリ間の通信のセキュリティについて話し合っています。エンジニアは、オンプレミスのプライベートレジストリを使用することを提案しています。

エンジニアがNKPクラスターとGithub SaaS) 間のセキュアな接続を構成する代わりに、プライベートレジストリを作成すべき最も重要な理由は何ですか？

- A. NKPにはプライベートレジストリライセンスが含まれています。
- B. NKPには特定のレジストリバージョンが必要です。
- C. NKPはパブリッククラウドに接続できません。
- D. プライベートレジストリはセキュリティとプライバシーを提供します。

正解: D (コメントを发表する)

プライベートレジストリの主な利点は、コンテナイメージのセキュリティとプライバシーを確保することであり、特に機密データやコンプライアンス要件（金融や政府機関での利用事例など）を扱う場合に有効です。

DockerHubやGitHubなどの公開レジストリへの安全な接続は可能ですが、プライベートレジストリを使用することで、イメージへのアクセスと監査を完全に制御できます。

重要な参考資料：

「プライベートレジストリは、イメージが企業のセキュリティおよびコンプライアンスの範囲内に留まることを保証し、パブリックSaaSレジストリに関連する潜在的なリスクを回避します。」参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - プライベートレジストリのユースケースとメリット」NCP-CN 6.10 学習ガイド - セキュリティとコンプライアンスに関する考慮事項」

質問: 38

Refer to the exhibit.

```
kubectl create namespace tenant-innovation
kubectl create namespace tenant-analytics
```

DevOps チームは、NKP クラスタ内の複数のアプリケーションからのログを管理するという、ますます深刻化する課題に直面しています。複数のチームが異なるプロジェクトに取り組んでいるため、各チームが自身のログに安全かつ効率的にアクセスできるマルチテナント ロギング システムを実装することが不可欠です。図に示すように、最初は各プロジェクトに2つの名前空間が設定されています。次に、各テナントに、ロギング構成を含む ConfigMap も設定されています。テナント「Innovation」の保持期間を30日、テナント「analytics」の保持期間を7日とするには、どのYAML出力が適切でしょうか。

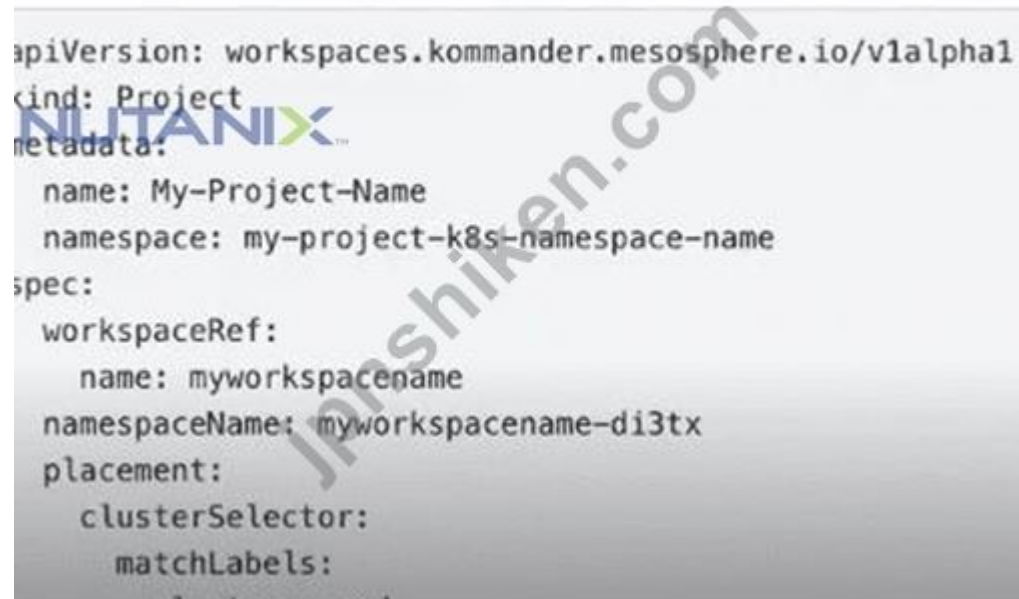
- A. `yamlCollapseWrapCopyapiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-innovation-confignamespace: tenant-innovationdata:values.yaml: |loki:structuredConfig:limits_config:retention_period: 30h---apiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-analytics-confignamespace: tenant-analyticsdata:values.yaml: |loki:structuredConfig:limits_config:retention_period: 7h`
- B. `yamlCollapseWrapCopyapiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-innovation-confignamespace: tenant-innovationdata:values.yaml: |loki:structuredConfig:limits_config:retention_period: 30d---apiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-analytics-confignamespace: tenant-analyticsdata:values.yaml: |loki:structuredConfig:limits_config:retention_period: 7d`
- C. `yamlCollapseWrapCopyapiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-innovation-confignamespace: tenant-innovationdata:values.yaml: |loki:structuredConfig:limits_config:retention_period: 30d---apiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-analytics-confignamespace: tenant-innovationdata:values.yaml: |loki:structuredConfig:limits_config:retention_period: 7d`

D. yamCollapseWrapCopyapiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-innovation-confignamespace: tenantdata:values.yaml: |  
loki:structuredConfig:limits\_config:retention\_period: 30d---apiVersion: v1kind: ConfigMapmetadata:name: logging-analytics-confignamespace:  
tenantdata:values.yaml: |loki:structuredConfig:limits\_config:retention\_period: 7d

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 39

Click to the exhibit.



```
apiVersion: workspaces.kommander.mesosphere.io/v1alpha1
kind: Project
metadata:
  name: My-Project-Name
  namespace: my-project-k8s-namespace-name
spec:
  workspaceRef:
    name: myworkspace
    namespaceName: myworkspace-di3tx
  placement:
    clusterSelector:
      matchLabels:
```

プロジェクトを作成した後、管理者は新しいソフトウェアリリースが両方の環境に自動的にデプロイされるように、どのような設定を行う必要がありますか？

- A. プロジェクトシークレット
- B. 継続的インテグレーション (CI)
- C. プロジェクト構成マップ
- D. 継続展開 (CD)

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 40

ある企業が最近NKPを導入しました。プラットフォームエンジニアは、既存のAmazon EKSを接続するよう依頼されました。それに応じてワークスペースとプロジェクトが作成され、リソース要件も満たされました。エンジニアはEKSクラスターを準備するために最初に何をする必要がありますか？

- A. EKS構成に従ってConfigMapを構成します。
- B. cluster-admin権限を持つサービスアカウントを作成します。
- C. HAProxyを設定してEKSクラスターに接続します。
- D. EKS クラスターに cert-manager をデプロイします。

正解: ([正解を表示します](#))

既存のAmazon EKSクラスターをNKPに接続してフリート管理を行うには、クラスターをNKPの管理プレーンに統合する必要があり、そのためには特定の準備手順が必要です。NKPAコースでは、最初のステップとして、EKSクラスター内にクラスター管理者権限を持つサービスアカウントを作成することが説明されています。このサービスアカウントは、NKPがクラスターを認証および管理するために使用され、監視、スケーリング、アプリケーションのデプロイなどの操作を可能にします。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドでは、Amazon EKS などの外部 Kubernetes クラスターを NKP に接続するには、クラスター管理者ロールがバインドされたサービス アカウントを作成し、NKP がクラスターの API サーバーとやり取りできるようにする必要があります。」と説明しています。サービス アカウントには、NKP がリクエストを認証するために使用するトークンが設定されます。NKPA コースでは、サービス アカウントの作成、クラスター管理者 ClusterRole の割り当て、NKP 統合用のトークンの生成など、詳細な手順が説明されています。この手順は、NKP が EKS クラスターを管理するために必要な権限を確実に取得するために重要です。

誤った選択肢：

\* A. EKS構成に従ってConfigMapを構成する :ConfigMapは特定の構成に使用できますが、EKSクラスターを接続するための最初のステップではありません。NKPA コースでは、サービスアカウントの作成を優先します。

\* C. HAProxyを設定してEKSクラスターに接続します。HAProxyはロードバランサーであり、EKSクラスターをNKPに接続するために必須ではありません。EKSはAWSネイティブのロードバランサーを使用し、NKPはKubernetes APIを介して接続します。

\* D. EKS クラスターに cert-manager をデプロイします。cert-manager は証明書管理に使用されるものであり、EKS クラスターを接続するための前提条件ではありません。NKPA コースでは、必須の手順として記載されていません。

：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、フリート管理に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、外部クラスタの接続に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション :<https://www.nutanixbible.com> Amazon EKS ドキュメント :<https://docs.aws.amazon.com/eks>

#### 質問: 41

プラットフォームエンジニアがNKP環境を管理しており、NKPクラスタノードとなるマシンイメージを準備しています。デフォルトのノード準備プロセスに関して、正しい記述はどれですか？

**A.** Packerは、OSイメージをNKPノードとして使用するためにCAPI準拠にするために使用されます。

**B.** Ansibleを使用して、OSイメージをNKPノードとして使用するためのCAPI準拠にします。

**C.** Gossは、NKPノードとして使用するためのOSイメージを強化するために使用されます。

**D.** Terraformを使用して、NKPノードとして使用する既存のOSイメージをクローンします。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、NKPクラスタノードのデフォルトのノード準備プロセスについて詳しく説明します。このプロセスでは、クラスタAPI (CAPI) 標準準拠したマシンイメージを作成します。このプロセスで使用される主なツールはPackerです。Packerは、ベースOSイメージ (UbuntuやRocky Linuxなど) に

kubeadm、containerd、その他の依存関係といったKubernetesに必要なコンポーネントをプロビジョニングすることで、マシンイメージの作成を自動化します。

Packer は、必要な Kubernetes バイナリをインストールし、コンテナ ランタイムを構成し、ネットワークおよびストレージ コンポーネントを設定することで、イメージが CAPI に準拠していることを保証します。Nutanix Cloud Native (NCP-CN)

6.10 学習ガイドには、NKP のデフォルトのノード準備プロセスでは、Packer を使用して CAPI 準拠の OS イメージを作成し、NKP ノードとして使用するための Kubernetes コンポーネントと依存関係をインストールします。」と記載されています。このプロセスは通常、NKP Image Builder (NIB) または Kubernetes Image Builder (KIB) によってオーケストレーションされますが、どちらもイメージ作成に Packer を使用しています。

誤った選択肢：

\* B. Ansible は OS イメージを CAPI 準拠にするために使用されます: Ansible は KIB/NIB によって Packer ビルド プロセス中に構成を適用するために使用されますが、Packer はイメージを作成するための主要なツールです。

Ansibleだけでは、イメージをCAPI準拠にすることはできません。

\* C. GossはOSイメージの強化に使用されます。Gossはイメージの強化に使用できる検証ツールですが、デフォルトのNKPノード準備プロセスには含まれていません。強化はオプションの手順です。

\* D. Terraform は既存の OS イメージをクローンするために使用されます: Terraform はインフラストラクチャのプロビジョニング用であり、イメージの作成やクローン用ではありません。NKP では Packer がイメージの作成を処理します。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、ノード準備に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP 導入の前提条件に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com> Packerドキュメント <https://www.packer.io>

#### 質問: 42

プラットフォームエンジニアが、NKPワークスペース内のすべてのクラスターにNKPプラットフォームアプリケーションをコマンドラインからデプロイしたいと考えています。使用するコマンドセットは何ですか？また、そのコマンドにはどのようなパラメータを指定する必要がありますか？

**A.** `nkp create appdeployment` コマンドセットが使用されます。アプリケーション ID とバージョン、およびクラスターの NKP ワークスペースを指定する必要があります。

**B.** `nkp deploy platform-app` コマンドセットが使用されます。アプリケーション ID とクラスターの NKP ワークスペースを指定する必要があります。

**C.** `nkp deploy app` コマンドセットが使用されます。アプリケーション ID とクラスターの NKP ワークスペースを指定する必要があります。

**D.** `kubectrl create appdeployment` コマンドセットが使用されます。アプリケーション ID とクラスターの NKP ワークスペースを指定する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPプラットフォームアプリケーション（例Rook Ceph、Prometheus、Fluent Bit）は、ワークスペース内のKubernetesクラスタにデプロイして、ストレージ、監視、ログ記録などのサービスを提供する、事前に統合されたツールです。

NKPAコースでは、コマンドラインからワークスペース内のすべてのクラスタにプラットフォームアプリケーションをデプロイするには、エンジニアは`nkp create appdeployment`コマンドを使用すると規定されています。このコマンドは、指定されたワークスペースとクラスタを対象とするアプリケーションデプロイリソースを作成します。

必須パラメーターには、アプリケーション ID (プラットフォーム アプリケーションを識別するため)、バージョン (アプリケーションの希望するバージョンを指定するため)、および NKP ワークスペース (クラスターのスコープを定義するため) が含まれます。例: `nkp create appdeployment --app-id prometheus --version 2.30.0 --workspace fin-vd`。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、`nkp create appdeployment` コマンドを使用してプラットフォーム アプリケーションをデプロイし、アプリケーション ID、バージョン、およびターゲット ワークスペースを指定して、そのワークスペース内のすべてのクラスターにデプロイを適用します。」と記載されています。誤ったオプション:

\* B. `nkp deploy platform-app`: これは有効な NKP コマンドではありません。正しいコマンドは `nkp create appdeployment` です。

\* C. `nkp deploy app`: これはNKPAドキュメントで認識されているコマンドではありません。

\* D. `kubectrl create appdeployment`: `kubectrl` は Kubernetes リソースとやり取りし、NKP 固有のプラットフォーム アプリケーションとはやり取りしません。

:

Nutanix Kubernetesプラットフォーム管理 (NKPA) コース、プラットフォームアプリケーションのデプロイに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

#### 質問: 43

プラットフォームエンジニアは、NKP環境を管理するための安全で隔離された環境を構築する任務を負っています。この環境はインターネットにアクセスできませんが、将来的にNKPクラスタを追加で作成する必要が生じます。セキュリティチームは、この目的を達成するために踏み台ホストを使用することを推奨しています。

このシナリオにおける要塞ホストの主な目的は何ですか？

- A. クラスターに関連する機密データを保存および管理する。
- B. NKPクラスターの作成と運用のための安全なポイントを提供する。
- C. NKPクラスターのロードバランサーとして機能する。
- D. クラスターのファイアウォールとして機能し、すべての受信トラフィックをブロックします。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

インターネットにアクセスできないエアギャップ型のNKP環境では、バスティオンホストは安全な管理に不可欠な要素です。NKPAコースでは、バスティオンホストの主な目的はNKPクラスターの作成と運用を安全に行うための拠点を提供することだと定義しています。バスティオンホストはジャンプサーバーとして機能し、管理者が隔離された環境に安全にアクセスし、クラスターの展開を管理したり、クラスターの作成、スケーリング、アップグレードなどの操作を実行したりする際に、環境を外部の脅威にさらすことなく済みます。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、ダークサイト NKP デプロイメントでは、バスティオン ホストが、管理者が NKP クラスターを作成、管理、運用するための安全なエントリ ポイントとして機能し、外部ネットワークからの隔離を保証します。」と記載されています。バスティオン ホストには、SSH キーと NKP CLI などのツールが設定されており、クラスター インフラストラクチャとの安全なやり取りを容易にします。

誤った選択肢：

- \* A. 機密データの保存と管理: バスティオンホストはストレージシステムではありません。その役割はアクセスと管理であり、データの保存ではありません。
- \* C. ロードバランサーとして機能する: バスティオンホストはロードバランシングを実行しません。その役割は、MetalLB やクラウドネイティブロードバランサーなどの Kubernetes コンポーネントによって処理されます。
- \* D. ファイアウォールとして機能させる: バスティオンホストはセキュリティを強化しますが、ファイアウォールではありません。ファイアウォールはネットワークアーキテクチャにおける独立したコンポーネントです。

：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、ダークサイトデプロイメントに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP 導入の前提条件に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: **44**

添付資料を参照してください。



プラットフォームエンジニアは、NKP Ultimateライセンスを使用して新しいワークスペースを作成し、そのワークスペース内に新しいKubernetesクラスターを作成する必要があります。しかし、図に示すように、**クラスターの作成**オプションがグレー表示されていることにエンジニアは気づきました。エンジニアはこの問題をどのように解決すべきでしょうか？

- A. GUIを使用せず、YAMLのみを使用してクラスターを作成します。
- B. 新しいクラスターを作成する代わりに、既存のクラスターを接続します。
- C. ワークスペース用のインフラストラクチャプロバイダーを作成します。
- D. NKPが最低でもバージョン2.12にアップグレードされていることを確認してください。

正解: **C** ([コメントを發表する](#))

この図は、新しいワークスペースで **クラスターの作成**オプションがグレー表示されているNKP UIを示しています。これは、クラスター作成の前提条件が満たされていないことを示しています。NKPAコースでは、ワークスペースに新しいKubernetesクラスターを作成するには、そのワークスペース用にインフラストラクチャプロバイダーを設定する必要があると説明しています。インフラストラクチャプロバイダーは、クラスターがプロビジョニングされる基盤となるインフラストラクチャ (Nutanix AHV、AWS、vSphereなど) を定義するものであり、これが設定されていないと、UIで **クラスターの作成**オプションは無効のままになります。NKP Ultimate ライセンスは、さまざまなインフラストラクチャにわたるクラスターの作成をサポートしていますが、クラスターの作成を有効にするには、ワークスペースをインフラストラクチャ プロバイダーに関連付ける必要があります。Nutanix Cloud Native (NCP-CN)

6.10 学習ガイドには、新しいワークスペースでクラスターを作成する前に、NKP UI でワークスペースにインフラストラクチャ プロバイダーが構成されていることを確認してください。そうでない場合、**[クラスターの作成] オプションはグレー表示されます。**と記載されています。エンジニアは、NKP UI の **[インフラストラクチャ プロバイダー] セクション** (通常は **[グローバル] ビュー**または **[管理] ビュー**) に移動し、プロバイダー (Nutanix AHV、AWS、vSphere など) を作成して、ワークスペースに関連付ける必要があります。これが完了すると、**[クラスターの作成] オプション**が使用可能になります。

誤った選択肢：

- \* A. GUI を使用せず、YAML のみを使用してクラスターを作成する: 問題は GUI 自体にあるのではなく、インフラストラクチャ プロバイダーが欠落していることにあり、これは GUI と CLI の両方のクラスター作成に影響します。YAML だけではこの問題は解決しません。
- \* B. 新しいクラスターを作成する代わりに既存のクラスターを接続する: 既存のクラスターを接続することは代替手段ですが、新しいクラスターを作成するという要件には対応していません。
- \* D. NKPが最低でもバージョン2.12にアップグレードされていることを確認してください。NKP Ultimateライセンスは最新バージョンを意味しており、このコースではこの機能にバージョン2.12が必須であるとは明記されていません。問題はバージョンではなく、構成に関するものです。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、クラスター作成の前提条件に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、ワークスペース構成に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: **45**

プラットフォームエンジニアは、vSphereプロビジョニング方式を使用して、vSphereインフラストラクチャ上にNKPクラスターを作成する必要があります。このクラスターには、3つのワーカーノードプールが必要です。

- \* 最初のノードプールは6つのワーカーノードで構成される必要があります
- \* 2番目のノードプールは3つのワーカーノードで構成される必要があります
- \* 3番目のノードプールは3つのワーカーノードで構成される必要があります。さらに、最初のノードプールのワーカーノードは10 CPU に設定し、2番目のノードプールのワーカーは8 CPU に設定し、3番目のノードプールのワーカーは6 CPU に設定する必要があります。NKP CLI を使用して NKP クラスターを作成する適切な方法は何ですか？

A. まず、以下のパラメータを含めて `nkp create cluster vspher` コマンドを実行します。

--ワーカーレプリカ 6

--ワーカーCPU 10

次に、以下のパラメータを含めて `nkp create nodepool vsphere` コマンドを実行します。

--ワーカーレプリカ 3

--ワーカーCPU 8

次に、以下のパラメータを含めて `nkp create nodepool vsphere` コマンドを実行します。

--ワーカーレプリカ 3

--ワーカーCPU 6

**B.** まず、以下のパラメータを含めて `nkp create cluster vspher` コマンドを実行します。

--ワーカーレプリカ 6

--ワーカーCPU 10

次に、以下のパラメータを含めて `nkp create nodepool vsphere` コマンドを実行します。

--レプリカ 3

--CPU 6

**C.** `nkp create cluster vSphere` コマンドを実行する際に、以下のパラメータを含めてください。

--ノードプール 3

--ワーカーレプリカ 6,3,3

--ワーカーCPU 10,8,6

**D.** まず、以下のパラメータを含めて `nkp create cluster vspher` コマンドを実行します。

--ワーカーレプリカ 6

--ワーカーCPU 10

次に、以下のパラメータを含めて `nkp create nodepools vsphere` コマンドを実行します。

--レプリカ 3,3

--CPU 8,6

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、NKP CLIを使用してvSphere上にNKPクラスタを作成する手順を詳しく説明します。これには、特定のワーカーノード数とCPU設定を持つ複数のノードプールの構成も含まれます。正しい手順としては、まず最初のノードプールでクラスタを作成し、その後、追加のノードプールを個別に追加していく方法があります。

オプションAの手順は、このプロセスと一致しています。

\* `nkp create cluster vsphere --worker-replicas 6 --worker-cpus 10`: このコマンドは、vSphere 上に NKP クラスタを作成します。最初のノード プールは、それぞれ 10 個の CPU を持つ 6 つのワーカー ノードで構成されます。

\* `nkp create nodepool vsphere --worker-replicas 3 --worker-cpus 8`: これにより、それぞれ 8 CPU を持つ 3 つのワーカー ノードを備えた 2 番目のノード プールがクラスタに追加されます。

\* `nkp create nodepool vsphere --worker-replicas 3 --worker-cpus 6`: これにより、それぞれ 6 つの CPU を持つ 3 つのワーカー ノードを持つ 3 番目のノード プールが追加されます。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、「vSphere 上に複数のノード プールを持つ NKP クラスタを作成するには、`nkp create cluster vsphere` を使用して最初のノード プールを定義し、次に `nkp create nodepool vsphere` を使用して追加のノード プールを追加します。各プールに対して `--worker-replicas` と `--worker-cpus` を指定します。」と記載されています。この方法により、各ノード プールの構成を正確に制御できます。

誤った選択肢：

\* B: 2 番目の `nkp create nodepool` コマンドでは `--replicas` と `--cpus` が使用されていますが、これらは正しいフラグではありません。

NKPAコースでは、`--worker-replicas`と`--worker-cpus`が指定されています。

\* C: `--node-pools`、`--worker-replicas 6,3,3`、および `--worker-cpus 10,8,6` フラグは、単一の `nkp create cluster` コマンドではサポートされていません。ノード プールは個別に作成する必要があります。

\* D: `nkp create nodepools` コマンドはありません。正しいコマンドは `nkp create nodepool` です。

さらに、`--replicas` と `--cpus` は不適切なフラグです。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、クラスタ作成に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP クラスタの構築に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

#### 質問: 46

ある企業が最近NKPを導入しました。プラットフォームエンジニアは、既存のAmazon EKSを接続するよう依頼されました。それに応じてワークスペースとプロジェクトが作成され、リソース要件も満たされました。エンジニアはEKSクラスターを準備するために最初に何をする必要がありますか？

A. EKS クラスターに `cert-manager` をデプロイします。

B. `cluster-admin` 権限を持つサービス アカウントを作成します。

C. HAProxyを設定してEKSクラスターに接続します。

D. EKS構成に従ってConfigMapを構成します。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

有効的な**NCP-CN**問題集はJPNTTest.com提供され、**NCP-CN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**NCP-CN**試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-CN試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-CN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-CN-mondaishu> **111問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

#### 質問: 47

プラットフォームエンジニアがAWS上でKubernetesクラスタバージョン1.28.1を実行しており、これをバージョン1.29.9にアップグレードする必要があります。このクラスタはNutanix NKPを使用してデプロイされています。この要件を満たすために、エンジニアはどの2つのアクションを実行すべきでしょうか？ 2つ選択してください。)

A. `nkp update nodepool aws ${NODEPOOL_NAME} --cluster-name=${CLUSTER_NAME} --kubernetes-version=v1.29.9` を使用してワーカーをアップグレードします

B. `nkp update controlplane aws --cluster-name=${CLUSTER_NAME} --ami AMI_ID --kubernetes-version=v1.29.9` を使用してコントロールプレーンをアップグレードします。

C. `nkp upgrade nodepool aws ${NODEPOOL_NAME} --cluster-name=${CLUSTER_NAME} --kubernetes-version=v1.29.9` を使用してワーカーをアップグレードします

D. `nkp update cluster aws --cluster-name=${CLUSTER_NAME} --ami AMI_ID` を使用してクラスターをアップグレードします。

`--kubernetes-version=v1.29.9`

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、AWS上で稼働しているKubernetesクラスターをバージョン1.28.1から1.29.9にアップグレードするなど、NKPが管理するKubernetesクラスターのアップグレード手順を詳しく説明します。Kubernetesクラスターのアップグレードには、次の2つの明確なステップがあります。

コントロールプレーンノードとワーカーノードをアップグレードすることで、最小限の混乱で互換性を維持します。NKP CLIには、AWSクラスター向けにこれらのアップグレードを個別に処理するための専用コマンドが用意されています。

\* `nkp update controlplane aws --cluster-name=${CLUSTER_NAME}` を使用してコントロールプレーンをアップグレードします。

`--ami AMI_ID --kubernetes-version=v1.29.9` (オプション B): コントロール プレーンを最初にターゲット Kubernetes バージョン (1.29.9) にアップグレードする必要があります。`nkp update controlplane aws` コマンドは、クラスター名、新しい Kubernetes バージョン、およびターゲット バージョンをサポートする更新された AMI (Amazon Machine Image) を指定して、コントロール プレーン ノードを更新します。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、AWS 上の NKP クラスターをアップグレードするには、まず `nkp update controlplane aws --cluster-name <name> --ami <ami-id> --kubernetes-version <version>` を使用してコントロール プレーンを更新し、コントロール プレーンが目的の Kubernetes バージョンを実行するようにします。」と記載されています。`--ami` フラグは、アップグレードされたコントロール プレーン ノードと互換性のあるイメージを指定するために必要です。

\* `nkp upgrade nodepool aws ${NODEPOOL_NAME} --cluster-name=${CLUSTER_NAME} --kubernetes-version=v1.29.9` を使用してワーカーをアップグレードします (オプション C): コントロール プレーンがアップグレードされた後、各ノード プールのワーカー ノードをアップグレードして、コントロール プレーンのバージョンに合わせる必要があります。

`nkp upgrade nodepool aws` コマンドは、指定されたノードプールをターゲットの Kubernetes バージョン (1.29.9) に更新します。NKPA コースのノートには、`nkp upgrade nodepool aws` を使用してワーカーノードをアップグレードする」と記載されています。

`<nodepool-name> --cluster-name <cluster-name> --kubernetes-version <version>` は、ローリングアップデートを実行してダウンタイムを最小限に抑えます。このコマンドは、ワーカーノードのローリングアップデートを自動的に処理し、更新されたバージョンを実行する新しいノードに置き換えます。NKP は通常、コントロールプレーンと同じ AMI を使用するか、バージョンに基づいて互換性のある AMI を取得するため、ここでは `--ami` フラグは不要です。

誤った選択肢：

\* A. `nkp update nodepool aws`: 正しいコマンドは `nkp upgrade nodepool` であり、`nkp update nodepool` ではありません。NKPA コースでは、ノード プールのバージョン変更に `upgrade` コマンドを使用します。

\* D. `nkp update cluster aws`: このコマンドは、NKP で Kubernetes のバージョンをアップグレードするための標準的な方法ではありません。このコースでは、制御プレーンとノードプールのアップグレード用に個別のコマンドを指定し、制御されたプロセスを確保しています。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、クラスターのアップグレードに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: 48

プラットフォームエンジニアが、Nutanix AHVとAWSの複数のNKPクラスター向けにカスタムOSイメージをデプロイしたいと考えています。カスタムイメージの作成と各イメージリポジトリへの配置を容易にするためにバンドルされているツールはどれですか？ 2つ選択可能)

A. コンボイイメージビルダー

B. テラフォーム

C. Ansible

D. Nutanix Image Builder

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

質問: 49

プラットフォームエンジニアはNKPアプリケーションをいくつかインストールしたいと考えていますが、一部のコンポーネントのデフォルト設定仕様を若干変更する必要があります。また、同社は既にKubernetes用の別のバックアップユーティリティを使用しているため、Velero自体は無効にすることができます。

エンジニアは、アプリケーションをデプロイする際に、これらの目標を達成するためにどの手順を用いるでしょうか？

- A.** `nkp install kommander --init` を実行して出力ファイルを作成します。出力ファイルで変更するコンポーネントのカスタム仕様を設定します。`nkp install kommander` コマンドを使用して、出力ファイルを指定して NKP アプリケーションをデプロイします。NKP アプリケーションのインストールが完了したら、`kubectl delete hr -n kommander velero` を実行します。
- B.** `nkp install kommander --init` を実行して出力ファイルを作成します。出力ファイルで Velero を無効にし、変更するコンポーネントのカスタム仕様を設定します。`nkp install kommander` コマンドを使用して、出力ファイルを指定して NKP アプリケーションをデプロイします。
- C.** `nkp config kommander --init` を実行して出力ファイルを作成します。出力ファイルで Velero を無効にし、変更するコンポーネントのカスタム仕様を設定します。出力ファイルを指定して `helm install` コマンドを使用してアプリケーションをデプロイします。
- D.** `nkp config kommander` を実行します。出力ファイルで Velero を無効にし、変更するコンポーネントのカスタム仕様を設定します。`nkp install kommander` コマンドを使用して NKP アプリケーションをデプロイし、出力ファイルを指定します。

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

質問: **50**

プラットフォームエンジニアがNKP UIからアタッチされたクラスタを削除しようとしていますが、削除中」の状態のまま削除されません。エンジニアは、クラスタをデタッチしてUIから削除し、NKPによる管理を解除するにはどうすればよいのでしょうか？

- A.** NKP管理クラスタのコンテキストで`kubectl delete cluster`コマンドを実行します。
- B.** NKP に接続されたクラスターのコンテキストで `nkp delete kommandercluster` コマンドを実行します。
- C.** NKP管理クラスタのコンテキストで`kubectl delete kommandercluster`コマンドを実行します。
- D.** NKP が接続されているクラスターのコンテキストで `nkp delete cluster` コマンドを実行します。

正解: **C** ([コメントを發表する](#))

NKP UI で接続されたクラスター (EKS などの外部クラスター) が 削除中」状態のままになっている場合、NKP 管理クラスターの調整プロセスに問題があることを示しています。NKPA コースでは、接続されたクラスターは NKP では管理クラスター内の KommanderCluster カスタム リソースとして表現されることが説明されています。削除処理が停止した状態を解決するには、エンジニアは NKP 管理クラスターのコンテキストで `kubectl` を使用して KommanderCluster リソースを手動で削除する必要があります。

正しいコマンドは `kubectl delete kommandercluster` で、NKP 管理クラスタのコンテキストで実行します (接続されているクラスタのコンテキストではありません)。例: `kubectl delete kommandercluster <クラスタ名> -n`

`<namespace>`。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、接続されたクラスタが 削除中」の状態のままになっている場合は、`kubectl delete kommandercluster` を使用して NKP 管理クラスタ内の対応する KommanderCluster リソースを削除し、管理から削除してください。」と記載されています。これにより、クラスタが完全にデタッチされ、UI から削除されます。

誤った選択肢：

- \* A. `kubectl delete cluster`: このコンテキストにはクラスター リソース タイプがありません。正しいリソースは `kommandercluster` です。
- \* B. `nkp delete kommandercluster`: `nkp CLI` には `delete kommandercluster` サブコマンドがありません。
- \* D. `nkp delete cluster in the attached cluster`: このコマンドは、NKP で管理されているクラスターを削除するためのものであり、外部クラスターを切り離すためのものではありません。また、管理クラスターのコンテキストから実行する必要があります。

：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、フリート管理に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、クラスタのデタッチに関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: 51

NKPを使用してデプロイされた開発用Kubernetesクラスタでパフォーマンスの問題が発生しています。クラウドエンジニアは、ワーカーVMが大量のCPUとRAMを消費していると指摘しました。プラットフォームエンジニアはGrafanaを使用してCPUとRAMの統計情報を確認し、ワーカーVMのCPUとメモリが不足していることを確認しました。Kubernetesクラスタには、8つのvCPUと32GBのRAMを持つワーカーが4つあります。プラットフォームエンジニアはどのような対策を講じるべきでしょうか？

- A. 技術サポートに連絡して、インフラストラクチャを確認してもらい、調査してもらいます。
- B. `nkp scale --cpu 16 --memory 64 --cluster-name ${CLUSTER_NAME} -n ${CLUSTER_WORKSPACE}` を使用してワーカーを 1 つ追加します
- C. `nkp scale --cpu 16 --memory 64 --cluster-name ${CLUSTER_NAME}` を使用してワーカーにCPUとメモリを追加します。
- D. 開発者にアプリケーションのレプリカ数を減らすよう依頼する。

正解: B ([コメントを發表する](#))

質問: 52

プラットフォームエンジニアがNKPを導入し、その標準搭載データストレージ機能を利用したいと考えている。NKP環境内でバックアップをサポートするために、エンジニアは何を有効化すべきでしょうか？

- A. ボリューム iSCSI
- B. ミニオ
- C. オブジェクトS3
- D. ルーク・セフ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 53

プラットフォームエンジニアが、オンプレミスの Nutanix クラスターと Amazon EKS の両方に NKP をデプロイする予定です。このアーキテクチャにおけるブートストラップクラスターの役割は何ですか？

- A. プロビジョニングに必要なリソースを最小限に抑えることでコストを削減します。
- B. 単一の入り口からのセキュリティを強化します。
- C. Kubernetesのネットワーク要件を簡素化します。
- D. インフラストラクチャに依存しないプロビジョニングのためにクラスタAPIを使用します。

正解: D ([コメントを發表する](#))

質問: 54

enter the exhibit.



- プラットフォームエンジニアは、プロダクションワークスペースを選択し、クラスターprod-01の「詳細を表示」を選択した後、NKP Insightsアプリケーションを有効にしようとしていました。このアプリケーションはオブザーバビリティカテゴリに属していますが、このカテゴリはリストに表示されません。このワークスペースのKubernetesクラスターにNKP Insightsアプリケーションをデプロイするために、エンジニアはどのような操作を行うべきですか？
- A. 左側のメニューで「クラスター」を選択し、「アプリケーション」を選択して、NKP Insightsの3点メニューで「有効にする」を選択します。
  - B. 左側のメニューで「アプリケーション」を選択し、NKP Insightsアプリケーションオプションの3点メニューを押して、「有効にする」を選択します。
  - C. 左側のメニューから「インサイト」を選択し、「有効にする」ボタンを選択します。
  - D. 左側のメニューで「クラスター」を選択し、クラスターprod-01の「詳細を表示」を選択します。次に、アプリケーションダッシュボードで、NKP Insightsの3点メニューから「有効にする」を選択します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NKPA 6.10のドキュメント「Day 2 Operations: Managing Applications」によると、NKP Insightsなどのアプリケーションを有効にする推奨手順は、クラスターのアプリケーションダッシュボードにアクセスすることです。クラスターに適切なコンテキストが設定されていない場合、またはアプリケーションカテゴリがグローバルに有効になっていない場合、NKP Insightsアプリケーションは一般的なカテゴリリストに表示されません。

NKP Insightsを有効にするための具体的な手順は以下のとおりです。

左側のメニューから「クラスター」セクションに移動します。

- \* 対象クラスター（この場合はprod-01）の「詳細を表示」を選択します。
- \* その特定のクラスターのアプリケーションダッシュボードで、NKP Insightsアプリケーションを探します。
- \* NKP Insightsの3点メニュー（省略記号をクリックし、「有効にする」を選択します。

参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「特定のクラスターでのアプリケーションの有効化」 NCP-CN 6.10 学習ガイド - 「ワークスペースでのアプリケーションのデプロイ」 この正確なアプローチにより、NKP Insightsが適切なクラスターレベルのコンテキストにデプロイされ、グローバルなアプリケーションビューに「可観測性」カテゴリが欠落している問題を回避できます。

質問: 55

Kubernetes管理者は、新しいワークスペースに新しいKubernetesクラスターをデプロイする必要があります。このクラスターには、現在および将来の異常を検出する予測分析ソリューションが必要です。クラスターの準備が完了したら、管理者はどのオプションをデプロイする必要がありますか？

- A. Nutanix Pulse

- B. NCMインテリジェントオペレーションズ
  - C. NKPインサイト
  - D. NKP AIナビゲーター
- 正解: C (コメントを发表する)

質問: 56

開発チームは、ログ記録システムをより堅牢なものにするために最適化する必要があった。なぜなら、CPUとメモリの制限が不十分で、需要が高い時間帯にログの収集と処理に遅延が発生していたからである。

詳細なパフォーマンス分析の後、CPU制限を1から4に、メモリを1000Miから4Giへ。

開発チームは、fluentd のカスタムリソース要求と制限値を設定するために、どの ConfigMap を実行すべきでしょうか？

A. バッシュ

コピー

[nutanix@nkp-boot ~]\$ cat <<EOF > configmap.yaml

APIバージョンv1

種類 ConfigMap

メタデータ

名前 logging-operator-logging-overrides

名前空間コマンダー

データ

values.yaml |

流暢

リソース

制限

CPU 1

メモリ1000Mi

リクエスト

CPU 4

メモリ4Gi

EOF

B. バッシュ

コピー

[nutanix@nkp-boot ~]\$ cat <<EOF > configmap.yaml

APIバージョン: v1

種類: ConfigMap

メタデータ:

名前: logging-operator-logging-overrides

名前空間: コマンダー

データ :

values.yaml: |

```
fluentd:
リソース :
制限:
CPU: 4
メモリ: 4Gi
リクエスト:
CPU: 4
メモリ: 4Gi
EOF
C. bash
コピー
[nutanix@nkp-boot ~]$ cat <<EOF > configmap.yaml
APIバージョンv1
種類 ConfigMap
メタデータ
名前 logging-operator-logging-overrides
名前空間コマンダー
データ
values.yaml |
流暢
リソース
制限
CPU 4
EOF
values.yaml |
流暢
リソース
制限
CPU 4
メモリ4Gi
リクエスト
CPU 1
メモリ1000Mi
EOF
D. bash
コピー
[nutanix@nkp-boot ~]$ cat <<EOF > configmap.yaml
APIバージョン: v1
種類: ConfigMap
メタデータ:
名前: logging-operator-logging-overrides
```

名前空間: コマンダー

データ :

values.yaml: |

流暢

リソース

制限

CPU 4

メモリ 1000Mi

リクエスト

CPU 1

メモリ 4Gi

EOF

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10 のドキュメント「ログ記録のリソース要求と制限のカスタマイズ」に記載されているように、ログ記録オペレーターのデフォルトのリソース値を上書きするには、kommander 名前空間にある logging-operator-logging-overrides という名前の ConfigMap を使用します。ConfigMap 内の values.yaml には、fluentd のリソース制限と要求を有効な YAML 形式で正確に定義する必要があります。

正しいYAML形式は次のとおりです。

yaml

コピー

APIバージョン: v1

種類: ConfigMap

メタデータ:

名前: logging-operator-logging-overrides

名前空間: コマンダー

データ :

values.yaml: |

fluentd:

リソース :

制限:

CPU: 4

メモリ: 4Gi

リクエスト:

CPU: 4

メモリ: 4Gi

これにより、fluentdデーモンに必要なCPUとメモリのリソースが正しく割り当てられ、解析エラーを回避し、要求の厳しいログ記録のニーズを満たすことができます。

参照 :

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「ログ記録リソースの設定」 NCP-CN 6.10 学習ガイド - 「ConfigMap を使用した Fluentd リソースのオーバーライド」

質問: 57

プラットフォームエンジニアはNKPアプリケーションをいくつかインストールしたいと考えていますが、一部のコンポーネントのデフォルト設定仕様を若干変更する必要があります。また、同社は既にKubernetes用の別のバックアップユーティリティを使用しているため、Velero自体は無効にすることができます。エンジニアは、アプリケーションをデプロイする際に、これらの目標を達成するためにどの手順を用いるのでしょうか？

**A.** `nkp install kommander --init` を実行して出力ファイルを作成します。

変更するコンポーネントのカスタム仕様を出力ファイル内で設定します。

`nkp install kommander` コマンドを使用してNKPアプリケーションをデプロイし、出力ファイルを指定します。

NKPアプリケーションのインストールが完了したら、`kubectl delete hr -n kommander velero`を実行します。

**B.** `nkp install kommander --init` を実行して出力ファイルを作成します。

出力ファイルでVeleroを無効にし、変更するコンポーネントのカスタム仕様を設定してください。

`nkp install kommander` コマンドを使用してNKPアプリケーションをデプロイし、出力ファイルを指定します。

**C.** `nkp config kommander --init` を実行して出力ファイルを作成します。

出力ファイルでVeleroを無効にし、変更するコンポーネントのカスタム仕様を設定してください。

`helm install` コマンドを使用してアプリケーションをデプロイし、出力ファイルを指定します。

**D.** `nkp config` コマンドを実行します。

出力ファイルでVeleroを無効にし、変更するコンポーネントのカスタム仕様を設定します。

`nkp install kommander` コマンドを使用してNKPアプリケーションをデプロイし、出力ファイルを指定します。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10のドキュメントでは、アプリケーションのデプロイメントをカスタマイズする（Veleroを無効にするなど）適切な方法は、`nkp install kommander --init` コマンドを使用して構成ファイルを生成することであると明記されています。生成されたファイルは、カスタム仕様を設定したりVeleroを無効にしたりするために変更でき、最後に`nkp install kommander` コマンドを使用してデプロイできます。

正確な抜粋：

「`--init` を使用してカスタム構成ファイルを生成し、特定の環境に合わせて変更し（Velero を無効にするなど）、同じ `nkp install kommander` コマンドでデプロイします。」参照:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「Kommanderのインストールをカスタマイズする」NCP-CN 6.10 学習ガイド - 「NKPアプリケーションのデプロイとカスタマイズ」

質問: 58

管理者はNKPで管理されているワークロードクラスターで問題が発生したため、以下の目的でNKP Insightsをデプロイするよう指示されました。

\* 一般的な異常を解決する

\* セキュリティ上の問題を確認する

\* ワークロードがベストプラクティスに従っているかどうかを確認します。NKP Insights を有効にしようとすると、選択する必要があるクラスターがグレー表示されます。どの前提条件が不足しているかを確認してください。

**A.** ヨット

**B.** 証明書マネージャー

**C.** Nutanixオブジェクト

**D.** ルーク・セフ

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10のドキュメントの「NKP Insightsの前提条件」によると、NKP Insightsをデプロイするための必須要件の1つは、ターゲットワークロードクラスタにcert-managerがインストールされ、適切に構成されていることです。cert-managerは、クラスタコンポーネントとNKP Insightsプラットフォーム間の安全な通信と可観測性に必要な証明書を提供します。

文書には以下のように記載されています。

NKP Insightsでは、ターゲットワークロードクラスタにcert-managerがインストールされている必要があります。cert-managerが有効になっていない場合、NKP Insightsの展開において、クラスタは利用不可（グレー表示）と表示されます。cert-managerがないと、Insightsオペレーターはコンポーネントを検証したり安全に展開したりすることができず、その結果、Insightsの有効化プロセス中にクラスタを選択できなくなります。

参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - NKP Insights のデプロイ」NCP-CN 6.10 学習ガイド - NKP Insights の前提条件としての Cert-manager」

質問: 59

NKPライセンスはどの部署で取得できますか？

- A. TiBs
- B. フラッシュ
- C. CPUコア
- D. CPUソケット

正解: C ([コメントを发表する](#))

質問: 60



プラットフォームエンジニアは、プロダクションワークスペースを選択し、クラスターprod-01の「詳細を表示」を選択した後、NKP Insightsアプリケーションを有効にしようとしていました。このアプリケーションはオブザーバビリティカテゴリに属していますが、このカテゴリはリストに表示されません。

このワークスペースのKubernetesクラスターにNKP Insightsアプリケーションをデプロイするために、エンジニアはどのような操作を行うべきですか？

- A. 左側のメニューで「アプリケーション」を選択し、NKP Insights アプリケーションオプションの 3 点メニューを押して、有効にする」を選択します。
- B. 左側のメニューで「クラスター」を選択し、「アプリケーション」を選択して、NKP Insights の 3 点メニューで「有効にする」を選択します。
- C. 左側のメニューから「インサイト」を選択し、「有効にする」ボタンを選択します。

D. 左側のメニューで「クラスター」を選択し、「クラスター prod-01 の 詳細を表示」を選択します。次に、アプリケーション ダッシュボードで、NKP Insights の 3 点メニューから「有効にする」を選択します。

正解: D ([コメントを發表する](#))

質問: 61

開発チームは、Grafanaログインを用いた効率的な監視システムを導入することを決定し、以下の出力に示すように、その実装は成功しました。  
名前空間「kommander-default-workspace」内にアプリケーションデプロイメント「kommander-default-workspace/grafana-logging」が作成されました。  
チームはこのタスクを完了するためにどのコマンドを実行しましたか？

- A. `kubectl get helmreleases grafana-logging -n kommander-default-workspace -w`
- B. `nkp create appdeployment grafana-logging --app grafana-logging-6.57.4 --workspace default-workspace`
- C. `kubectl get appdeployment -n kommander-default-workspace`
- D. `export WORKSPACE_NAMESPACE=kommander-default-workspaceappdeploymentnkp create package-bundle grafana-logging`

正解: ([正解を表示します](#))

有効的な**NCP-CN**問題集はJPNTTest.com提供され、**NCP-CN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**NCP-CN**試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-CN試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-CN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-CN-mondaishu> **111問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 62

開発チームは、効率的なログ記録システムを導入し、大量のログを拡張性の高い方法で管理するために、ストレージとしてAWS S3を使用することを決定しました。

チームは以下の手順を踏んだ。

WORKSPACE\_NAMESPACE変数を、前の手順でコピーした名前空間に設定します。

ConfigMapを上書きしてストレージ構成を更新する構成を作成しました。

grafana-loki AppDeploymentを更新して設定の上書きを適用しましたが、実装に失敗しました。AWSでログストレージを管理できるようにするには、チームはどうすればよいのでしょうか？

- A. NKP専用の新しいIAMロールを設定します。
- B. AWS 上にテナントを作成します。
- C. 静的なAWS S3認証情報を含むシークレットを作成します。
- D. AWSストレージに対応するIPアドレスを設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 63

管理者は、質問に示されているコマンドを使用して、ダークサイト（インターネット接続がない）環境にAHVベースのNKPクラスタの初期デプロイを試みています。

```
nkp create cluster nutanix \  
--cluster-name=$CLUSTER_NAME \  
--control-plane-prism-element-cluster=$PE_NAME \  
--worker-prism-element-cluster=$PE_NAME \  

```

```
--control-plane-subnets=$SUBNET_ASSOCIATED_WITH_PE \  
--worker-subnets=$SUBNET_ASSOCIATED_WITH_PE \  
--control-plane-endpoint-ip=$AVAILABLE_IP_FROM_SAME_SUBNET \  
--csi-storage-container=$NAME_OF_YOUR_STORAGE_CONTAINER \  
--endpoint=$PC_ENDPOINT_URL \  
--control-plane-vm-image=$NAME_OF_OS_IMAGE_CREATED_BY_NKP_CLI \  
--worker-vm-image=$NAME_OF_OS_IMAGE_CREATED_BY_NKP_CLI \  
--registry-url=${REGISTRY_URL} \  
--registry-mirror-username=${REGISTRY_USERNAME} \  
--registry-mirror-password=${REGISTRY_PASSWORD} \  
--kubernetes-service-load-balancer-ip-range $START_IP-$END_IP \  
--自己管理
```

デプロイメントを行うために、どの属性を追加する必要がありますか？

- A. 不安
- B. --registry-url
- C. --レジストリユーザー名
- D. --エアギャップ

正解: **D** ([コメントを發表する](#))

#### 質問: 64

あるテクノロジー企業は、アプリケーションのスケラビリティと管理性を向上させるため、インフラストラクチャをNKPに移行することを決定しました。初期実装が成功した後、運用チームは、すべてのアプリケーションが正しく動作し、本番環境で問題が発生しないように、HelmReleasesを検証するという新たな課題に直面しています。HelmReleasesの正しいステータスを確認するには、どのコマンドを実行すればよいのでしょうか？

- A. `kubectl get helmreleases -n ${PROJECT_NAMESPACE}`
- B. `kubectl get namespaces`
- C. `kubectl apply -f fluent-bit-overrides.yaml`
- D. `kubectl edit helmreleases -n ${PROJECT_NAMESPACE}`

正解: **A** ([コメントを發表する](#))

#### 質問: 65

NKPを導入する以前、ある企業はkubeadmを使用して多数のKubernetes (K8s) クラスターを作成していた。同社はNKPを介して新しいマネージドクラスターをデプロイしているものの、既存のネイティブK8sクラスターから新しいNKPクラスターへワークロードを移行することは今のところ望んでいない。

これらのクラスターをNKP管理クラスターに接続するための要件は何ですか？

- A. K8s クラスターのバージョンは、NKP 管理クラスターの Kubernetes バージョンから N - 1 以内である必要があります。
- B. NKP管理クラスターは、対象クラスターのサービスおよびapi-serverにアクセスする必要があります。
- C. K8s クラスターのバージョンは、NKP 管理クラスターの Kubernetes バージョンと一致している必要があります。
- D. K8sクラスター上にNKP管理クラスター管理者アカウントを確立する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10のドキュメントによると、外部（自己管理型KubernetesクラスタをNKPに接続するための主な要件はネットワーク接続です。具体的には、NKP管理クラスタがKubernetes APIサーバーおよび対象クラスタの関連サービスと通信できる必要があります。これにより、NKPはKommanderおよび関連ツールを介して、接続されたクラスタのメトリクスを収集し、ヘルスチェックを実行し、管理することができます。

正確な抜粋：

既存のKubernetesクラスターを接続するには、NKP管理クラスターがターゲットクラスターのKubernetes APIサーバーにアクセスできることを確認し、使用するkubeconfigに十分な権限があることを確認してください。」Kubernetesのバージョンが完全に一致している必要も、N-1以内である必要もありません。また、ターゲットクラスターにNKP管理者アカウントを直接設定する必要もありません。接続性と有効なkubeconfigファイルが必須要件です。

参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 外部クラスタの接続」NCP-CN 6.10 学習ガイド - 外部クラスタの統合」

#### 質問: 66

あるeコマース企業は、休日には同時トラフィックの大幅な増加によりサービスが低下するという問題を抱えているため、NKPクラスターにオートスケーリング構成を適用することを決定した。

展示図に示されている構成を最も適切に説明しているのは、次のうちどれですか？

- A. オートスケーラーは15ノードまたは3ノードを持つことができます。
- B. オートスケーラーは必要に応じてノード数を増やすことができますが、3未満に減らすことはありません。
- C. オートスケーラーはノード数を最大15まで増やすことができますが、3未満に減らすことはできません。
- D. オートスケーラーはノード数を最大3まで増やすことができますが、15未満に減らすことはできません。

正解: C ([コメントを發表する](#))

この展示では、オートスケーラー関連の注釈を含むNodeGroupリソースのYAMLマニフェストを示しています。

yaml

コピー

```
cluster.x-k8s.io/cluster-api-autoscaler-node-group-min-size: "3"
```

```
cluster.x-k8s.io/cluster-api-autoscaler-node-group-max-size: "15"
```

NKPA 6.10のドキュメントによると、これらの注釈は、指定されたNodeGroup内のオートスケーラーのノード数の最小値と最大値を設定します。オートスケーラーは、ノード数が最小値 3)を下回ったり、最大値 15)を超えたりしないようにします。

主要参考資料：

クラスターオートスケーラーは、ワークロード要件に基づいて、ノードグループを最大サイズまでスケールアップし、最小サイズまでスケールダウンします。」参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - クラスターオートスケーラー構成」NCP-CN 6.10 学習ガイド - オートスケーラーのノードグループ注釈」

#### 質問: 67

プラットフォームエンジニアがバックアップとリカバリの要件を抱えており、NKPに同梱されている既製のソリューションを利用したいと考えています。NKPに同梱されているバックアップおよびリカバリソリューションは何ですか？

- A. タール
- B. キャビネット
- C. ヨット
- D. Nutanix スナップショット

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NKPA 6.10のドキュメントでは、VeleroがNKPプラットフォームの一部として提供される組み込みのバックアップおよびリカバリソリューションであることが確認されています。Veleroは、クラスタレベルおよびネームスペースレベルのバックアップ、リストア、および移行機能を提供します。

ドキュメントからの抜粋（原文のまま）：

「VeleroはNKPに統合された、すぐに使えるバックアップおよびリストアソリューションです。スケジュールされたバックアップ、災害復旧、およびアプリケーション移行ワークフローをサポートします。」参照：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「Velero Backup and Recovery Integration」 NCP-CN 6.10 学習ガイド - NKP におけるバックアップおよびリストア ソリューション」

質問: **68**

Kubernetes管理者は、AWSに新しいクラスターをデプロイする任務を負っています。管理者はこのデプロイに関して、以下の要件を受け取りました。

地域：米国東部

AWSで新しいクラスターをデプロイするための要件は何ですか？AMI rhel8.6

- A. エクスポートAWS\_REGIONを設定する
- B. エクスポート KUBECONFIG を設定します
- C. --ami-format パラメータを使用します
- D. --dry-run パラメータを使用してください

正解: **A** ([コメントを発表する](#))

質問: **69**

ある企業はKubernetesプラットフォームとしてNKPを標準採用しており、以下の要件を満たす最初のクラスターをデプロイする必要があります。

- \* ダークサイト対応
- \* カスタムサービスCIDRブロック
- \* カスタムポッドCIDRブロック
- \* Nutanix AHV Cluster 上でホストされています。管理者はどのツールを使用してデプロイを実行しますか？

- A. kubectl CLI
- B. NKP GUI
- C. NKP CLI
- D. OCP CLI

正解: **C** ([コメントを発表する](#))

NKPAコースでは、NKP CLIが、ダークサイト環境、カスタムサービスおよびPod CIDRブロック、Nutanix AHVクラスタなど、高度な構成でNKPクラスタをデプロイするための主要ツールであると規定しています。NKP CLI (nkp)はクラスタ作成をきめ細かく制御できるため、管理者はコマンドラインフラグまたは構成ファイルを使用して、カスタムネットワークパラメータやエアギャップ展開設定を指定できます。

ダークサイト展開の場合、NKP CLIはエアギャップバンドルを使用して必要なすべての依存関係を提供します。

カスタム CIDR ブロックは、nkp create cluster コマンド実行時に --service-cidr や --pod-cidr などのフラグを使用して構成します。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、「NKP CLI は、ダークサイト対応やカスタムネットワークなど、カスタム構成のクラスタを Nutanix AHV クラスタにデプロイするために使用されます。」と記載されています。例: nkp create cluster --air-gapped --service-cidr 10.96.0.0/12 --pod-cidr 192.168.0.0

/16 --インフラストラクチャ nutanix-ahv。

誤った選択肢：

- \* A. kubectl CLI: kubectl は Kubernetes リソースを管理し、NKP クラスターのデプロイメントは管理しません。
- \* B. NKP GUI: GUIは基本的な展開をサポートしていますが、カスタムCIDRやダークサイト構成の柔軟性に欠けています。
- \* D. OCP CLI: OpenShift (OCP) は別のプラットフォームであり、NKP のデプロイメントには使用されません。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、クラスター展開に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP 導入の前提条件に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

#### 質問: 70

Azure Kubernetes Service (AKS) インフラストラクチャに NKP をデプロイすることに関して、正しい記述は次のうちどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. 既存のAKSクラスターは管理クラスターに接続する必要があります。
- B. AKSのベストプラクティスでは、カスタマイズされたイメージの構築を推奨しています。
- C. NKP を AKS クラスターにインストールする前に、Kommander コンポーネントを含む NKP 管理クラスターをインストールする必要があります。
- D. AKS クラスターは、管理クラスターまたは Pro NKP クラスターとしてデプロイできます。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、Azure Kubernetes Service (AKS) とNKPの統合に関する具体的な手順を概説し、フリート管理とデプロイメントアーキテクチャに焦点を当てています。正しい記述は以下のとおりです。

\* 既存の AKS クラスターを管理クラスターに接続する必要があります (オプション A):AKS はマネージド Kubernetes サービスであるため、NKP は AKS クラスターを直接プロビジョニングしません。代わりに、NKP は既存の AKS クラスターを管理プレーンに接続して一元管理を行います。Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、AKS 統合の場合、NKP は AKS クラスターをプロビジョニングしないため、既存の AKS クラスターを [クラスターの接続] 機能を使用して NKP 管理クラスターに接続する必要があります。」と記載されています。これには、AKS クラスターでクラスター管理者権限を持つサービス アカウントを作成し、その kubeconfig を NKP に提供することが含まれます。

\* NKP を AKS クラスターにインストールする前に、Kommander コンポーネントを含む NKP 管理クラスターをインストールする必要があります (オプション C): Kommander コンポーネントは NKP 管理クラスターの一部であり、AKS クラスターを含むフリート管理のための集中管理プレーンを提供します。NKPA コースでは、AKS などの外部クラスターを接続または管理する前に、Kommander を含む NKP 管理クラスターをデプロイする必要があると規定されています。NCP-CN 6.10 学習ガイドには、Kommander は外部クラスターのフリート管理機能を有効にするため、AKS クラスターを統合する前に Kommander を含む NKP 管理クラスターをインストールする必要があります」と記載されています。誤ったオプション:

\* B. AKS のベストプラクティスでは、カスタムイメージの構築を推奨しています。AKS のベストプラクティスでは、Azure が提供するデフォルトのノードイメージを使用することを推奨しています。これらのイメージは、自動スケーリングやセキュリティなどの AKS 機能に最適化されています。カスタムイメージを使用すると、以前の質問 (例: Q91) で述べたように、機能が失われる可能性があります。

\* D. AKS クラスターは、管理用または Pro NKP クラスターとしてデプロイできます。AKS クラスターは NKP によってデプロイされるのではなく、接続されます。また、AKS クラスターは NKP 管理用クラスターとして使用できません。管理用クラスターは、Nutanix AHV、AWS、vSphere などのサポート対象インフラストラクチャにデプロイする必要があります。Pro NKP クラスター」は NKP ドキュメントでは有効な用語ではありません。Pro はライセンスティアを指し、クラスターの種類を指すものではありません。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、AKS を使用したフリート管理に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、外部クラスターの接続に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: 71

プラットフォームエンジニアが既存のKubernetesクラスターをNKPに接続しようとしています。一部のクラスターにはネットワーク制限があるため、セキュアトンネルを使用する必要があります。プラットフォームエンジニアは、セキュリティエンジニアにファイアウォールルールの変更を依頼する必要があります。ファイアウォールルールでは、接続されたクラスタネットワーク上で何を許可する必要があるのでしょうか？

- A. HTTPS (TCP/443)
- B. NTPサービス (UDP/123)
- C. セキュアなLDAP (TCP/636)
- D. iSCSI (TCP/860 & 3260)

正解: ([正解を表示します](#))

NKPのセキュアトンネル機能は、HTTPS (TCPポート443)を利用して、接続されたクラスタと管理クラスタ間の安全で暗号化された接続を確立し、制限されたネットワーク環境でもフリート管理を可能にします。

正確な抜粋:

「セキュアトンネルは、接続されたクラスタとNKP間の安全な接続を確立するためにTCP/443 (HTTPS)を使用します。」参照: Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 制限付きクラスタ用のセキュアトンネル」 NCP-CN 6.10 学習ガイド - セキュアトンネル接続のためのファイアウォールルール」

質問: 72

国防関連企業では、機密データの保護を最優先事項としています。サイバー攻撃の増加に伴い、重要なアプリケーションを管理するために、外部への情報漏洩を防ぐ目的で、エアギャップ型のKubernetes環境を導入することを決定しました。このKubernetes環境には、アプリケーション用に3つのクラスターがデプロイされ、一元管理されています。この環境を有効にするには、どのようなライセンスが必要ですか？

- A. NKP Starter
- B. NKP アルティメット
- C. NKP Pro
- D. NKP UI

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、エアギャップ環境への展開と複数のクラスターの集中型フリート管理はNKPの高度な機能であり、NKP Ultimateライセンスティアが必要であると規定されています。Ultimateティアには、エアギャップ環境 (エアギャップバンドル経由)のサポートと、単一の管理プレーンの下で複数のクラスターを接続して管理するなどのフリート管理機能が含まれており、これは国防企業のシナリオにとって非常に重要です。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、エアギャップ環境へのデプロイと複数のKubernetesクラスターの一元管理には、NKP Ultimateライセンスティアが必要であり、安全で隔離された環境に必要なツールを提供します」と記載されています。これにより、同社は厳格なデータセキュリティを維持しながら、エアギャップ環境で3つのクラスターをデプロイおよび管理することができます。

誤った選択肢:

- \* A. NKP Starter: Starter ティアには、エアギャップ機能とフリート管理機能がありません。
- \* C. NKP Pro: Proティアでは一部の高度な機能がサポートされる場合がありますが、エアギャップ展開や完全なフリート管理はサポートされません。
- \* D. NKP UI: これはライセンスティアではなく、NKPのUIコンポーネントです。

:  
Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、ライセンスとフリート管理に関するセクション。  
Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、エアギャップ展開に関する章。  
Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

### 質問: 73

ある通信会社では、2つのチームがそれぞれ異なる2つのアプリケーションの開発に取り組んでいた。

\* アプリケーションA

\* アプリケーションBアプリケーションAの開発チームは、新機能のリリースに胸を躍らせていました。しかし、アプリケーションをデプロイしてみると、パフォーマンスが遅いことに気づきました。

調査の結果、ApplicationBチームがクラスターのリソースの大部分を消費しており、他のすべてのチームに影響が出ていることが判明しました。この問題をどのように軽減できるでしょうか？

A. 割り当てと制限範囲の実施

B. ネットワークポリシーの設定

C. RBACの設定

D. 継続的デプロイメント (CD)の実装

正解: ([正解を表示します](#))

NKPAコースでは、Kubernetesクラスタにおけるリソース競合について取り上げます。これは、あるアプリケーション（例アプリケーションB）が過剰なリソースを消費し、他のアプリケーション（例アプリケーションA）に影響を与える問題です。この問題を軽減するために、コースではクォータと制限範囲の実装を推奨しています。

リソースクォータは、ネームスペースが消費できるCPU、メモリ、その他のリソースの総量を制限し、チーム間での公平なリソース配分を保証します。

\* 制限範囲は、名前空間内の個々のポッドとコンテナに対して最小および最大のリソース制限を設定し、単一のアプリケーションがリソースを独占することを防ぎます。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、NKP クラスタでのリソース競合を防ぐには、リソース クォータを適用して名前空間リソースの使用量を制限し、制限範囲を適用してポッドとコンテナのリソース境界を強制します。」と記載されています。たとえば、管理者は、ApplicationB の名前空間リソースの使用量を制限する ResourceQuota と、そのポッドのリソース要求/制限を制限する LimitRange を作成することで、ApplicationA に十分なリソースが確保されるようにすることができます。

誤った選択肢：

\* B. ネットワークポリシーの設定 :ネットワークポリシーは、リソースの使用ではなく、ネットワークトラフィックを制御します。

\* C. RBAC の設定: RBAC はアクセス権限を管理し、リソースの割り当ては管理しません。

\* D. 継続的デプロイメント (CD) の実装: CD はデプロイメントを自動化しますが、リソースの競合には対処しません。

：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、リソース管理に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、Day 2 運用に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション :<https://www.nutanixbible.com> Kubernetesドキュメント：

<https://kubernetes.io/docs/concepts/policy/resource-quotas>

### 質問: 74

企業のITチームは、社内の3つのグループ向けにKubernetesクラスターを提供しています。

\* 素敵なCEO

\* 金融保険

\* Fin TravellITグループは、単一の管理画面からすべてのKubernetesクラスターのポリシーを統合する必要がありますが、Kubernetesクラスターは使用するグループごとに分離する必要があります。ITチームは、これらの要件を満たすために、NKP環境のライセンスと構成をどのように行うべきでしょうか？

- A. NKP Ultimate でフリート管理を行い、3 つのワークスペースを作成し、それぞれのワークスペースに該当する Kubernetes クラスターを割り当てます。
- B. Kubernetes管理のためのNKP Starter。あらゆる企業向けにKubernetesクラスターを作成します。
- C. プロジェクト管理用のNKP Proを使用して、3つのプロジェクトを作成し、それぞれのプロジェクトに該当するKubernetesクラスターを割り当てます。
- D. NKP Pro によるワークスペース管理、3 つのワークスペースの作成、および各ワークスペースへの対応する Kubernetes クラスターの割り当て。

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

NKPAコースでは、NKPのフリート管理機能により、単一のインターフェースから複数のKubernetesクラスターのポリシーを一元的に統合・管理できる一方、ワークスペースによって異なるチームやグループを分離できることが説明されています。グループごとにクラスターを分離しながらポリシーを統合するという要件を満たすには、高度なフリート管理機能を含むNKP Ultimateライセンスが必要です。

NKP Ultimateを使用すると、ITチームは次のことが可能になります。

- \* 3 つのワークスペースを作成します (各グループ (Fin VD、Fin Insurance、Fin Travel) ごとに 1 つ)。
- \* 各ワークスペースに適切なKubernetesクラスターを割り当て、グループ間の分離を確保します。
- \* NKPのフリート管理機能を使用して、NKP UIやCLIなどの単一のインターフェースから、すべてのクラスターにポリシー (RBAC、監視、ログ記録など) を適用できます。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、NKP Ultimate は、ワークスペースを使用して異なるチームやグループごとにクラスターを分離することで、複数のクラスターにわたる集中型ポリシーフェデレーションのためのフリート管理機能を提供します。」と記載されています。この設定により、各グループのクラスターが分離されつつ、集中型ポリシー管理が維持されるため、IT チームの要件に合致します。

誤った選択肢：

- \* B. NKP Starter: Starter ライセンスにはフリート管理機能とワークスペース分離機能が欠けているため、このシナリオには適していません。
- \* C. プロジェクト機能を備えたNKP Pro :プロジェクトは、リソース割り当てのためのワークスペース内のサブディビジョンであり、クラスターの分離やフリート管理のためのものではありません。NKP Proには、完全なフリート管理機能が含まれていない場合があります。
- \* D. ワークスペースを備えたNKP Pro :NKP Proはワークスペースをサポートしていますが、すべてのクラスターにわたる集中型ポリシーフェデレーションに必要な完全なフリート管理機能を提供しない場合があります。NKP Ultimateの方が適しています。

：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、フリート管理とワークスペースに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、ライセンスとフリート管理に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: **75**

ある組織のプラットフォームエンジニアが南極で研究を行っています。エンジニアは、インフラストラクチャが隔離されている間にNKPをデプロイするための踏み台ホストを準備しています。インフラストラクチャを出荷する前に、エンジニアは踏み台ホストにどのプログラムがインストールされていることを確認する必要がありますか？

- A. awscliとnkp
- B. ocとkubectl
- C. ocとaz
- D. kubectl と nkp

正解: ([正解を表示します](#))

このシナリオは、南極大陸の孤立した環境を想定しており、インターネットにアクセスできない状態で、バスティオンホストがNKPクラスターの展開と管理を行う主要な管理ポイントとして機能する、エアギャップ型のNKP展開を前提としています。NKPAコースでは、このような環境でNKPの展開と管理を容易にするために、バスティオンホストにインストールする必要のある必須ツールについて概説します。

必要なプログラムはkubectlとnkpです。

\* kubectl: これは、Kubernetes クラスターと対話するために使用される Kubernetes コマンドライン ツールであり、クラスター リソースの管理、デバッグ、およびデプロイ中およびデプロイ後の構成の適用に不可欠です。

\* nkp: NKP CLI (nkp) は、ブートストラップ クラスターの作成、クラスターのデプロイ、プラットフォーム アプリケーションの管理など、NKP クラスターのデプロイ、管理、スケーリングを行うための主要ツールです。エアギャップ構成では、nkp CLI はエアギャップバンドルを使用してデプロイ コマンドを実行するために不可欠です。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドには、エアギャップされた NKP デプロイメントの場合、デプロイメントプロセスを管理し、結果として生成される Kubernetes クラスターとやり取りするために、踏み台ホストに kubectl と nkp CLI がインストールされていることを確認してください。」と記載されています。これらのツールがあれば、エンジニアは隔離された環境で NKP をデプロイおよび運用できます。

誤った選択肢：

\* A. awscliとnkp awscliはAWS環境に特有のツールですが、質問ではAWSインフラストラクチャが明記されていません。また、インターネットアクセスがない隔離された環境では、awscliの関連性は低くなります。

\* B. ocとkubectl ocはOpenShift CLIであり、NKPデプロイメントでは使用されません。NKPは代わりにnkp CLIを使用します。

\* C. oc と az: az は Azure CLI であり、oc は OpenShift 用です。どちらも NKP のデプロイには関係ありません。

：

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、エアギャップ環境へのデプロイ準備に関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、NKP 導入の前提条件に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

質問: 76

国防関連企業では、機密データの保護を最優先事項としています。サイバー攻撃の増加に伴い、重要なアプリケーションを管理するために、外部への情報漏洩を防ぐ目的で、エアギャップ型のKubernetes環境を導入することを決定しました。このKubernetes環境には、アプリケーション用に3つのクラスターがデプロイされ、一元管理されています。この環境を有効にするには、どのようなライセンスが必要ですか？

A. NKP アルティメット

B. NKP Pro

C. NKP UI

D. NKPスターター

正解: ([正解を表示します](#))

有効的な**NCP-CN**問題集はJPNTest.com提供され、**NCP-CN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**NCP-CN**試験問題集を提供します。JPNTest.com NCP-CN試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-CN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-CN-mondaishu> 111問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 77

NKPクラスタをデプロイした際に、CAPIコンポーネントを受信しないNKPサポートインフラストラクチャはどれですか？

A. vSphere

B. GCP

C. Nutanix

## D. AKS

正解: ([正解を表示します](#))

NKPは、Nutanix AHV、vSphere、AWS、GCPなどのサポート対象インフラストラクチャ全体でKubernetesクラスタをプロビジョニングおよび管理するために、Cluster API (CAPI)を使用します。コントローラやプロバイダなどのCAPIコンポーネントは、これらのプラットフォーム上のクラスタのライフサイクルを管理するためにデプロイされます。ただし、NKPがAzure Kubernetes Service (AKS)などのマネージドKubernetesサービスに接続する場合、AKSはAzureによって管理されているため、CAPIコンポーネントはデプロイされません。NKPは、プロビジョニングではなく、フリート管理のためにのみクラスタと統合されます。NKPA コースでは次のように説明しています。AKS のようなマネージド Kubernetes サービスの場合、基盤となるインフラストラクチャはクラウド プロバイダーによって管理されるため、NKP は CAPI コンポーネントをデプロイせずにクラスターを管理プレーンに接続します。」Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイドでは、次のように強調しています。CAPI は Nutanix、vSphere、AWS、および GCP 上の NKP マネージド クラスターで使用されますが、AKS のような接続されたマネージド サービスでは使用されません。」間違ったオプション:

\* A. vSphere: NKPは、vSphereベースのクラスタを管理するためにCAPIコンポーネント (CAPVプロバイダなど)をデプロイします。

\* B. GCP: NKPは、GCPベースのクラスター向けにCAPIコンポーネント (CAPGプロバイダーなど)をデプロイします。

\* C. Nutanix: NKPは、Nutanix AHVクラスタ向けにCAPIコンポーネント (AHV用CAPAプロバイダなど)をデプロイします。

:

Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) コース、インフラストラクチャ サポートに関するセクション。

Nutanix Cloud Native (NCP-CN) 6.10 学習ガイド、CAPI統合に関する章。

Nutanix Cloud Bible、NutanixKubernetesPlatformセクション <https://www.nutanixbible.com>

## 質問: 78

プラットフォームエンジニアが、`nkp create cluster vspher`コマンドを使用してNKPワークロードクラスタをデプロイしています。

このクラスターは同社のコードグリーンチームによって利用され、エンジニアは既にNKP管理クラスター上にコードグリーンNKPワークスペースを作成済みです。

デプロイコマンドを発行した後、エンジニアは`nkp describe cluster`コマンドを使用してビルドを監視し、正常に完了したことを確認しました。しかし、数時間後、NKP UIにログインしてコードグリーンのNKPワークスペースを確認したところ、NKPワークロードクラスタが存在しないことがわかりました。

NKPワークロードクラスタがコードグリーンのNKPワークスペースにない理由として考えられるのは何ですか？

**A.** vSphere クラスタの Kubernetes バージョンが NKP 管理クラスタの Kubernetes バージョンから N - 1バージョン以内でない限り、vSphere クラスタを NKP UI に表示することはできません。

**B.** エンジニアがNKP UIでクラスタを表示しようとする前に、vSphereサービスアカウントの認証情報が期限切れになっていました。認証情報を更新すると、vSphereクラスタがNKPワークスペースに再び表示されます。

**C.** エンジニアが `nkp create cluster vspher` コマンドの一部として `--namespace code-green` パラメーターを指定しなかったため、デフォルトのワークスペースに作成され、手動でアタッチする必要があります。

**D.** NKP vSphere クラスタには NKP ワークスペースを割り当てることはできません。代わりに、デフォルトの NKP ワークスペースが割り当てられます。クラスタはこのワークスペースから表示できます。

正解: ([正解を表示します](#))

NKPA 6.10 のドキュメントでは、`nkp create cluster` コマンドを使用してワークロード クラスタを作成する場合、NKP UI でワークロード クラスタをそのワークスペースに正しく関連付けるには、ターゲット ワークスペース (名前空間) を指定することが重要であると明記されています。`--namespace <ワークスペース>` パラメータを省略すると、クラスタは意図したワークスペース (この場合は `code-green`) ではなく、デフォルトのワークスペースにプロビジョニングされます。

主要資料の抜粋:

クラスターを作成する際に --namespace パラメーターを使用してワークスペース（名前空間を指定しない場合、クラスターはデフォルトのワークスペースに作成されます。カスタムワークスペースには、手動で割り当てるまで表示されません。」参照:  
Nutanix Kubernetes Platform Administration (NKPA) 6.10 - 「ワークロードクラスターの作成」 NCP-CN 6.10 学習ガイド - 「ワークロードクラスターの名前空間とワークスペースのマッピング」

有効的な**NCP-CN**問題集はJPNTest.com提供され、**NCP-CN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**NCP-CN**試験問題集を提供します。JPNTest.com NCP-CN試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-CN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-CN-mondaishu> 111問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」